

令和元年度

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

事業報告



☆基本方針

すべての住民が自分の住み慣れた地域で
自分らしく生き生きと豊かに暮らせる
ふれあい、助けあい、支えあいのある
住民主体の福祉コミュニティの実現

我が国は、人口減少・少子高齢化の問題の上に、生活困窮の問題や毎年のように発生する自然災害等が重層的に加わり、さらに新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大により、生活不安や地域生活の困難さを拡大している状況にあります。

こうした状況の下、総社市では平成 27 年 12 月に策定された「第 2 次総社市総合計画」において、「全国屈指の福祉文化先駆都市」を掲げ、「全国屈指福祉会議」を通じて様々な先駆的・進歩的な福祉施策に取り組まれています。我々、総社市社会福祉協議会においても、総社市の施策と連携し、深刻な福祉課題に対応するために、社会福祉協議会としての使命を果たすべく事業を積極的に実施いたしました。ただし、年度末の事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け実施できなかったものもあります。

また、総社市では、平成 30 年 7 月豪雨災害により甚大な被害を受け、家を失った多くの被災者を出しました。本会では、被災者支援のために平成 30 年 10 月より市から「復興支援センター」の委託を受けて、被災者の生活支援や生活再建の支援を令和 2 年 3 月まで行ってきました。

さらに、市内の社会福祉法人と協働して設立した総社市社会貢献活動推進協議会では、フードドライブやひきこもりの方へのボランティア体験活動の受入れ、生活困窮者への一時生活支援活動など制度の狭間の課題にも取り組むことが出来ました。

重点事業であるひきこもり支援事業も、ひきこもり支援等検討委員会を中心に、本格的に取り組みました。相談支援やサポーターの養成、居場所の設置、家族会の運営、ひきこもり予防事業、就労支援事業などを積極的に取り組み、多くの方々を社会参加に繋げることができました。

このように全ての住民の豊かな暮らしを実現するために、「住民主体の地域福祉活動の推進」を担う中核的組織として、その使命と役割を十分に果たす取り組みを進めました。

本会はこの状況の中、上記の**基本方針**に基づき、次の**5 つの基本活動**を基盤に据え**住民主体の福祉コミュニティの実現**のため、諸事業を推進して参りました。

1. 住民主体の小地域福祉活動の推進
2. 当事者・当事者組織の支援活動の推進
3. ボランティア活動・市民活動（NPO）への支援・連携の推進
4. 相談・生活支援活動の推進
5. 介護予防事業、介護保険関連事業の充実・強化

さらに、地域福祉の推進のために、以下の**7つの事業を重点**に取り組みました。

☆重点事業

- (1) 地区社会福祉協議会（地区社協）活動の推進
- (2) 福祉委員活動の推進
- (3) ふれあいサロン活動の推進
- (4) ボランティアセンター事業の推進
- (5) 災害被災者復興支援事業の実施
- (6) ひきこもり支援の推進
- (7) 生活支援体制整備事業の実施

そして、このような事業を推進することにより、誰もが住み慣れた地域で安心して豊かに暮らせるノーマライゼーションの実現をめざし、「**総社市に住んでよかった**」と市民から声上がるような地域福祉を推進しました。

令和元年度に実施した主な事業

1. 法人運営事業

(1) 理事会・評議員会・監査会の開催

- ① 理事会 年5回（6/6・6/21・10/25・12/23・3/12）開催
- ② 評議員会 年3回（6/21・12/24・3/27）開催
- ③ 監査会 年1回（5/24）開催
- ④ 評議員選任・解任委員会 年2回（6/6・12/23）開催

(2) 役員及び職員の研修

① 役職員研修

『総社がめざすボランティアセンターを考える』研修会

※本会ボランティアセンター事業との合同企画として実施した

日 時：令和元年11月9日（土）13：30～15：30

場 所：総社市総合福祉センター 3階大会議室

講 師：日本福祉大学 副学長

社会福祉学部 社会福祉学科 教授 原田 正樹 氏

内 容：基調講演「いま、求められるボランティアセンターについて」

グループワーク

「ボランティアのイメージと活動に取り組むうえでの課題」

対象者：本会理事・評議員、地区社会福祉協議会長、地区民生委員児童委員協議会長、地区福祉委員長、本会職員、本会ボランティアセンター関連団体

参加者：82人

② 職員研修

本会職員が参加した岡山県社会福祉協議会主催研修についての伝達研修と本会事業を推進する上での、必要な知識を得るための研修として実施した。

No	日程	テーマ	参加人数
1	7/31(水)	接遇マナーについて	28人
2	8/28(水)	法人内事務処理等について	35人
3	10/31(木)	社協・生活支援活動強化方針について	29人
4	1/29(水)	コーチングについて	27人
5	3/18(水)	交通安全について（総社警察署）	中止

※中止：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

(3) 社会福祉関係機関、団体との連携

団体の活動費を助成するとともに活動を支援した。

団 体 名	合 計
総社地区保護司会	139,000 円
遺族連合会	272,000 円
総社地区更生保護女性会	67,000 円
原爆被爆者総社友の会	50,000 円
身体障がい者福祉協会	443,000 円
手をつなぐ親の会	113,000 円
山手セロリ青葉会（手をつなぐ親の会）	38,000 円
ひとり暮らしの会	164,000 円
介護者の会	158,000 円
あゆみ家族の会(精神障害者家族の会)	37,000 円
市保育協議会	28,000 円
母子寡婦福祉連合会	193,000 円
民生委員児童委員協議会	107,000 円
ボランティア連絡協議会	250,000 円
作業所利用同好会（清音）	31,000 円
計	2,090,000 円

(4) 社会福祉協議会会員加入促進と強化

厳しい社会情勢の中、自主財源確保のため、随時会費説明会を行い、各地区社協の協力を得て会員の増強に努めた。

- ・会費総額 14,810,400円（昨年度から250,700円増）
- ・加入率 56.2%（前年度 56.6%）

地区名	R1			H30	
	件 数	金 額	加入率	件 数	金 額
総社	4,730 件	3,810,300 円	51.5%	4,667 件	3,801,400 円
常盤	2,058 件	1,918,900 円	33.5%	1,976 件	1,819,500 円
池田	375 件	387,000 円	71.6%	378 件	382,500 円
清音	1,690 件	1,714,500 円	72.8%	1,653 件	1,677,500 円
三須	867 件	884,500 円	76.0%	853 件	869,500 円
服部	613 件	662,000 円	69.5%	604 件	653,000 円
阿曾	705 件	709,000 円	67.3%	713 件	717,000 円
山手	995 件	994,500 円	56.8%	1,004 件	1,004,000 円
秦	572 件	607,000 円	78.0%	573 件	608,000 円
神在	504 件	513,000 円	70.4%	411 件	419,000 円
久代	837 件	693,200 円	64.8%	825 件	702,800 円
山田	211 件	212,000 円	75.1%	210 件	211,000 円
新本	418 件	428,500 円	72.9%	417 件	432,500 円
昭和	939 件	950,000 円	70.7%	938 件	949,000 円
事務局	173 件	326,000 円		146 件	313,000 円
計	15,687件	14,810,400円	56.2%	15,368件	14,559,700円

(5) 社会福祉協議会基盤強化に関する調査、研究

① 「第26回岡山県保健福祉学会」研究発表

日時：令和2年1月27日(月) 9時30分～16時30分

場所：岡山県総合福祉・ボランティアNPO会館（きらめきプラザ）

【研究テーマ：演題】

- ・「意識調査アンケートから考えるふれあいサロンの意義と役割」
- ・「総社市における被災者見守り・相談支援事業の成果と課題～生活支援相談員の取り組みを中心に～」

(6) 広報紙の発行、ホームページの作成と更新

① 「みんなのちいきふくし」の発行（年4回（1回あたり26,700部）発行）

【58号】（6月）

特集：ひきこもり家族会 設立記念講演会

地域ニュースfrom地区社協（服部・池田・山手）

復興支援センターの活動状況・組織体制の変更・車両の寄贈・

令和元年度事業計画予算 など

【59号】（9月）

特集：復興祭など復興支援に関する各地区の取り組み

地域ニュースfrom地区社協（三須・新本・清音）

平成30年度事業報告決算・赤い羽根共同募金運動・各種講座案内 など

【60号】（12月）

特集：全国ひきこもり支援基礎自治体サミットinそうじゃ

全国ひきこもり支援フォーラム

地域ニュースfrom地区社協（常盤・秦・久代）

生活支援にここをサポート事業・福祉学習の取り組み・フードドライブの

実施報告・こども食堂の取り組み・復興支援センターの活動状況 など

【61号】（3月）

特集：ハートフルそうじゃ2019

地域ニュースfrom地区社協（総社・神在・山田）

ボランティアセンター研修会の開催について・松寿会及び介護者の会入会案内・

ふくしネットそうじゃの活動状況・表彰（福祉部門）について など

② ホームページの更新

- ・研修や制度の案内、各種活動状況を随時更新
- ・ホームページアドレス <http://www.sojasyakyo.or.jp/>
- ・SNS（facebook、Twitter等）の活用

(7) 民生委員互助共励事業の実施

① 退任慰労 76件

② 傷病見舞 2件

(8) 職員体制の状況（3月31日現在）

① 課体制

・ 事務局長	1人（常務理事兼務（嘱託） 1人）
・ 事務局次長 兼地域福祉課長	1人（正規 1人）
・ 総務企画課	
課長	1人（正規 1人）
総務企画係	7人（正規 3人・嘱託 1人・臨時 3人）
・ 地域福祉課	
地域福祉係	10人（正規 7人・嘱託 1人・臨時 2人）
復興支援係	5人（正規 2人・嘱託 2人・臨時 1人）
・ 相談支援課	
課長	1人（正規 1人）
障がい支援係	9人（正規 6人・臨時 3人）
権利擁護係	12人（正規 7人・嘱託 1人・臨時 4人）
・ 在宅福祉課	
課長	1人（正規 1人）
総括	1人（嘱託 1人）
訪問介護係	6人（正規 6人）
居宅介護支援係	7人（正規 6人・嘱託 1人）
計画相談係	5人（正規 4人・嘱託 1人）
職員合計	67人（正規44人・嘱託10人・臨時 13人）

② 資格取得状況

（国家資格）

・ 社会福祉士	21人
・ 精神保健福祉士	7人
・ 介護福祉士	18人
・ 保健師	2人
・ 看護師	3人

（認定資格）

・ 臨床心理士	2人
・ 介護支援専門員	20人
・ 相談支援専門員	17人

※ 重複あり延数

③ 年齢構成（正規職員のみ）

・ 20歳代	10人（事務局 10人・事業所 0人）
・ 30歳代	7人（事務局 5人・事業所 2人）
・ 40歳代	17人（事務局 11人・事業所 6人）
・ 50歳代	8人（事務局 1人・事業所 7人）
・ 60歳代	2人（事務局 1人・事業所 1人）

2. 地域福祉活動計画

① 第2次地域福祉活動計画の策定

本会で実施する事業の多くは、総社市で策定の「第2次総社市総合計画」（平成30年度改訂版）「岡山・倉敷に並ぶ新都心 総社 ～全国屈指の福祉文化先駆都市～」及び全国屈指福祉会議を尊重し推進している。このことから、これらでの検討結果をふまえて、当面は地域福祉活動計画の策定を見合わせ、総社市と一体的に事業を進めていくこととしている。

3. 地域福祉活動事業

（1）住民主体の地区社協活動・小地区社協活動の推進

① 地区社協会長会議の開催 年4回開催

・第1回地区社協会長会議（4/18）

協議・報告事項（高校生の社会貢献活動について、平成31年度敬老会行事について、社協会費配分について、地区給食サービス補助金について、寄付金配分について、共同募金配分について、日本地域福祉学会について、各提出書類について）

・第2回地区社協会長会議（7/22）

報告事項（平成30年度 総社市社会福祉協議会事業報告について・平成30年度各地区社協の取り組みについて）

協議事項（地区社協座談会について、令和元年度 赤い羽根共同募金事業についてポスター作品コンクールについて・赤い羽根共同募金運動推進会議の開催日程）

・第3回地区社協会長会議（10/25）

報告事項（福祉関係者受賞について・赤い羽根共同募金ポスター作品コンクールについて）

協議事項（地区社協座談会について）

・第4回地区社協会長会議（3/18）

協議・報告事項（令和2年度 総社市社会福祉協議会事業計画（案）について・令和2年度 赤い羽根福祉でまちづくり助成事業について・新型コロナウイルスの影響への対応について）

② 福祉のまちづくり座談会の開催

令和2年2月頃から各地区社協で座談会に向けた打ち合わせ会議を実施。打ち合わせ会議を経て、座談会を開催予定。

③ 小地域ケア会議・圏域ケア会議との連携

様々な地域課題を協議している小地域ケア会議との関係を密にし、地区社協として対応の可能性が見いだせる課題については、地区社協で取組みを協議する。

④ 赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業の推進

平成30年度より公募方式による共同募金からの助成の「赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業」（90万円）について、今年度も引き続き積極的に取り組んだ。

「赤い羽根 福祉でまちづくり助成事業」

地区	事業名	事業概要
総社	見守り活動及び生活支援サービスに関する活動	・夏季の見守り事業として実施。飲み物とシガーフライを配布する。 ・一人暮らし高齢者の方と共に80歳以上の夫婦のみの世帯へも同様に配布
常盤	常盤地区防災訓練	救急法、AED 使用、防災講話、炊き出し訓練を実施し、防災の意識向上・啓発を図る。
池田	福祉学習	・従来の対象「75歳以上の一人暮らし高齢者」に加えて、「80歳以上の高齢者のみ世帯」も配食の対象とする。 ・池田小の児童に、地区社協の活動を伝える機会をもつ（福祉学習）。 ・地区給食の調理や配食を体験してもらい、年に1回、高齢者と一緒にお弁当を食べる交流会を開催する。
清音	清音いきいき健康福祉まつり	・福祉作文・ポスターコンクールの表彰式。 ・きよね認定こども園、放課後児童クラブ、総社西中コーラス部、総社南高校ダンス部、中央部南地域包括支援センターによるステージ発表。 ・こども広場と遊びの広場などを行い、清音地区の多世代が交流できる場とする。
三須	第22回ふれあい文化まつり	・イベントコーナーの開設（甘酒・おしるこ・バザー・うどん・園児幼児ふれあいコーナー、お楽しみ抽選会等） ・グラウンドゴルフ大会
服部	トートバッグの作成	・地区社協メンバー用に作成 ・赤い羽根福祉共同募金の意識の向上 ・重要書類など保管し、紛失防止へ役立つ
阿曾	困りごとアンケートの作成・実施	・昨年度作成した、いきいきあんしんガイドに対する意見と生活に関する困りごとについてアンケートを実施 ・アンケート結果について、全戸に配布する。
山手	やまてなかよしウォーキング	小学6年生までの児童と保護者を対象に、なかよしウォーキングを実施する。
神在	交流の場づくり秋は集まろう会	・会食（秋祭りちらし寿司）と茶話会 ・昔懐かしいテレビ時代劇観賞 ・みんなで合唱
久代	久代地区三世代ふれあいまつり	対象：久代地区在住・在勤・出身者及びその縁者、友人等 内容：栄養委員、愛育委員などと連携し、子どもから高齢者まで幅広く参加できる食育・健康増進イベント
山田	山田べんりーなにおける高齢者支援	・70歳以上高齢者世帯を対象に困りごと（草刈・剪定等）に対応している。（年間約100件の依頼あり）
新本	西の吉備路探訪健康ウォーキング 新本	対象：新本地区住民 人数：約100名 内容：新本分館から春山までのウォーキングを実施

- ⑤ 地区担当制による地区社協活動の運営補助・相談業務
担当地区のサロンや行事、様々な場を訪問し、地域との関係構築を図った。
- ⑥ 地区給食サービスのメニューの見直し
管理栄養士による高齢者向けのメニュー表を作成し、各地区へ地区給食サービスのメニュー表を提供している。
- ⑦ 地区社協だよりの発行
地域住民に地区社協の事業報告や社協会費の使途、決算・監査報告などを目的に地区社協毎に年1～2回程度発行した。

(2) 民生委員・児童委員活動との連携

地域福祉の増進を目的（民生委員法第1条）として、地域で活躍する民生委員・児童委員との連携を図り、地域福祉を推進した。

- ・市民生委員・児童委員協議会定例会への参加
- ・地区民生委員・児童委員協議会定例会への参加
- ・福祉委員との合同研修の実施

(3) 福祉委員活動の推進

- ① 全町内会・自治会等に福祉委員の配置を推進
590人（46世帯に1人の配置）
- ② 地区福祉委員会、市福祉委員協議会の活動支援
- ・総社市福祉委員協議会
 - 総会 1回（6/14）開催
 - 役員会 4回（5/31・9/20・10/31・3/19）開催
 - 役員等視察研修会：真庭市社会福祉協議会
 - 日時：令和元年12月19日（木）8：50～15：40
 - 場所：落合総合センター
 - 内容：真庭市落合地区福祉委員活動の取り組みについて
落合地区福祉委員との交流・意見交換（参加者：32名）
- ③ 研修会（民生委員合同・初任者等）の実施
【民生委員との合同研修】

地区	実施日	内 容
総社	10/12	講演『障がい児教育の歴史及び支援学校から伝えたいこと』
池田	9/13	視察『三石いきいき付添サポート隊について』
常盤	12/12	講演『民生委員児童委員（主任児童委員）の活動について』
清音	2/12	講演『終活について』
三須		新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
山手		新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
服部	2/6	講演『高齢者施設について』
阿曾	2/5	視察『備前プレイパーク～こどもの居場所事業について～』
秦	6/12	視察『長島愛生園 ハンセン病について』
神在	9/21	視察『フリースペースあかね～ひきこもり支援について～』

久代	2/12	講演『地域福祉の現状について』
山田	2/12	講演『地域福祉の現状について』
新本	7/25	講演『認知症について』
昭和		新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

【ブロック研修】

地区		参加者	ブロック 研修開催 日	研修内容等	場所
中央 部①	総社	100名	9/5日 (木)	講演：「誰もが安心して暮らせる地域をめざして～総社市社会福祉協議会の取り組み～」 講師：市社会福祉協議会 白神 雅也	総合福祉センター 3階 大会議室
	池田				
中央 部②	常盤	64名	9/8日 (土)	講演：「認知症の方と介護家族への支援を考える」 講師：認知症の人と家族の会 安藤 光徳 氏	清音福祉センター 2階 大ホール
	清音				
東部	三須	61名	1/21 (火)	テーマ：「在宅医療について」 講師：あさのクリニック 院長 浅野 直 氏	阿曾分館
	服部				
	阿曾				
	山手				
西部	秦	65名	11/1 (金)	講演：「認知症の正しい理解」 講師：認知症の人と家族の会 安藤 光徳 氏	久代分館 大会議室
	神在				
	久代				
	山田				
北部	新本		3/17 (火)	視察：「長島愛生園視察研修」 ⇒新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止	長島愛生園
	昭和				

④ 「福祉委員だより“ささえあい”」の発行

福祉委員へ福祉情報や福祉委員活動の実践等、情報提供を行うことで、福祉委員活動の周知や意識高揚を図り、今後の福祉委員活動に活かすことを目的に作成。

- ・第15号（10月）・第16号（3月）
- ・編集委員会の開催

（４）ふれあいサロン事業の推進

① ふれあいサロン活動助成金の交付

- ・申請 223か所
- ・助成 215か所（総額4,678,000円）

② 新規ふれあいサロンへの立ち上げ相談、運営支援

	設置数	新規設置数	延開催回数	延参加者数
高齢者	211か所	4か所	2,771回	35,303人
障がい者	3か所	0か所	42回	378人
子育て	9か所	0か所	96回	1,493人
合計	223か所	4か所	2,909回	37,174人

- ・ふれあいサロン備品の整備と貸出
- ・ふれあいサロンへの職員の訪問・取材・相談
- ・様々な分野の講師・指導者の派遣調整
- ・ふれあいサロンの情報提供（一覧、広報紙）

③ 各サロンへ訪問

- ・ふれあいサロン活動の状況把握、相談支援、情報交換や情報提供、備品の説明。

④ ふれあいサロン交流会の開催

- ・内容：ふれあいサロン育成事業について、ふれあいサロン活動における知恵や工夫についてグループディスカッション
- ・各圏域会場にて開催
（西部・北部は開催、中央部南は事務連絡のみ、他圏域は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止）
参加者数：86サロン 148人

(5) ボランティアセンター事業の実施

① ボランティア（グループ、個人）活動の支援

- ・ボランティア登録（72グループ（2,331人）、個人3人）

② ボランティア活動のコーディネート

- ・47件

③ ボランティアの養成及び活動の推進・支援

④ ボランティア養成講座の開催

対象者：市内在住の方

市内でボランティア活動に取り組みたい方

参加者：50名

内 容：基礎講座（全3回）

専門講座

- ・朗読ボランティア講座 ・点訳ボランティア講座
- ・障がい者ふれあいボランティア講座 ・災害ボランティア講座
- ・福祉レクリエーション講座 ・子どもを支えるボランティア講座

⑤ 「夏のボランティア体験事業」の実施

- ・参加者：232人（中学生以上）
- ・51事業所で活動
- ・事前・事後研修会の実施

- ⑥ ジュニアボランティア養成講座の開催（全４回）
- ・参加者：７人
 - ・講師：岡山県立大学 准教授 岩満 賢次 氏

- ⑦ ボランティア連絡協議会の支援
- ・１３団体、１７９人
 - ・総会・交流集会・視察研修・役員会の実施

（６）災害ボランティアセンター事業

- ① 災害ボランティアの派遣
- ・派遣件数：５４件
 - ・派遣人数：２７３人
 - ・活動内容：家財の搬出、引っ越しのお手伝い、床板はがしなど

（７）福祉教育の推進

- ① 社会福祉学習支援事業の実施
- ・実施件数：小学校１２件、中学校１件、地域団体１件

No	実施	内容
１	総社中央小学校	・導入の授業・高齢者疑似体験・白杖体験・地域との交流 ・障がい者の暮らしについて・認知症サポーター養成講座 ・福祉学習発表会
２	総社小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験 ・障がい者の暮らしについて・聴覚障がいの話 ・高齢者疑似体験・認知症サポーター養成講座
３	常盤小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験・高齢者疑似体験 ・福祉学習発表会・認知症サポーター養成講座
４	池田小学校	・導入の授業・高齢者疑似体験・車いす、白杖体験 ・地区社協との交流
５	清音小学校	・導入の授業・高齢者疑似体験 ・デイサービスでの交流・認知症サポーター養成講座
６	山手小学校	・導入の授業・盲導犬ユーザーによる授業 ・車いす、白杖体験・高齢者疑似体験 ・認知症サポーター養成講座
７	阿曾小学校	・導入の授業・認知症サポーター養成講座 ・高齢者疑似体験・車いす体験、白杖体験 ・盲導犬ユーザーによる授業・ふれあいサロンへの参加 ・認知症サポーター養成講座
８	総社東小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験
９	秦小学校	・総社市総合福祉センター見学・高齢者疑似体験 ・認知症サポーター養成講座
１０	総社西小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験・高齢者疑似体験 ・盲導犬、介助犬ユーザーによる授業 ・認知症サポーター養成講座
１１	新本小学校	・導入の授業・障がい者の暮らしについて ・車いす、白杖体験・介助犬ユーザーによる授業 ・盲導犬ユーザーによる授業・高齢者疑似体験 ・ふれあいサロンでの交流

12	昭和小学校	・導入の授業・聴覚障がいの話・車いす、白杖体験 ・高齢者疑似体験・福祉学習発表会 ・認知症サポーター養成講座 ・ボランティアグループ点訳の会による点字体験
13	総社中学校	・導入の授業・車いす、白杖体験 ・障がい者の暮らしについて
14	昭和地区社協	・導入の授業・高齢者疑似体験 ・介助犬ユーザーによる授業

② 福祉学習メニュー表の作成

実践可能な講座を取りまとめたメニュー表を作成し、多様な福祉学習の実施につながるよう努めた。

③ 県立高校社会貢献活動との連携

総社高等学校（総高）：延65人 総社南高等学校（南高）：延129人

活動先		内容	学校	人数
総社	ふれあいサロン川崎	高齢者とのふれあい	南高	延18人
池田	三世代交流ふれあいウォーキング	片道3kmのウォーキングの交通整理等	南高	3人
	池田地区子育て交流会	小学生や幼稚園児などとのふれあい、見守り	南高	3人
清音	さんあいの家サロン	お飾りづくりの手伝い	総高	6人
	清音いきいき健康福祉まつり	準備、片付け、運営の補助	南高	20人
服部	夏休みお楽しみ会	イベントの準備、運営補助、昼食補助	南高 総高	3人 2人
	ふれあいバーベキュー砂川公園	受付、子どもたちの見守り、レクリエーション	南高 総高	8人 2人
	世代交流ふれあい会	受付、子どもたちの見守り、レクリエーション	南高	3人
山手	山手なかよしウォーキング	ウォーキングの見守り、レクリエーション	南高	4人
秦	秦ふるさとふれあい祭り	焼きそば販売とそれに関わる準備作業	南高 総高	2人 2人
神在	小さな夏祭り	そうめん流しの補助、クイズ、レクリエーション	南高 総高	5人 5人
久代	三世代ふれあいまつり	受付、子ども相撲行司、各種ゲームの補助等	南高 総高	10人 11人
新本	西の吉備路探訪 健康ウォーキング in 新本	ウォーキングの補助、高齢者、子ども見守り	南高 総高	1人 3人
	手打ち蕎麦による年末慰問	そば打ち作業と配達	南高 総高	3人 5人
昭和	昭和地区敬老会	受付、敬老者の誘導、記念品の手渡し等	総高	3人
	五つ星学園こどもまつり	受付、準備、会場運営、ワークショップ会場手伝い	南高 総高	5人 6人

	ふるさと探訪ウォーキング In中尾・滝山	参加者と一緒に地区内を歩く、地域の方とのふれあい	南校	2人
その他	ときわにここ食堂	子どもたちの見守り、レクリエーション	南校 総高	延21人 延20人
	総社西小学校いろは児童クラブ	子どもたちの見守り、交流	南校	2人
	kids' Halloween Party in リブ（英PLAY）	イベント時の子どもたちの誘導、ゲーム補助	南高	16人

④ 令和元年度福祉教育セミナーの開催

目 的：「福祉」「教育」「地域」の三者が「福祉教育」の目的や意義を理解し、より良い福祉教育の実践を模索し、福祉教育の学びや気づきを今後の福祉教育・地域福祉活動につなげる。

日 時：令和2年2月20日（木）14：00～15：30

対 象：小学校、中学校、高校、大学の教職員、福祉教育関係者、ボランティア、地区社協関係者など福祉教育に関心のある方

基調講演：「共に学び合える福祉教育～“ちょっと体験”を通じて考えよう～」

岡山NPOセンター 参画推進センター長 西村 ころろ 氏

参 加 者：36人

(8) 生活福祉資金等の貸付

① 生活福祉資金の貸付

- ・貸付件数 3件（緊急小口資金特例貸付）
- ・相談件数 31件

② 緊急援護資金の貸付

	R1	H30	H29	H28	H27
相談件数	74件	115件	221件	48件	62件
貸付件数	35件	34件	32件	31件	51件
うち生活保護世帯	18件	19件	17件	13件	18件
	51.4%	55.9%	53.1%	43.3%	35.3%
償還率	87.5%	94.1%	81.3%	73.3%	86.3%

(9) 生活支援サービスの実施（協議体の開催）

① 生活支援サービス検討委員会の開催（第1層協議体）

総社市における生活支援・介護予防サービスの体制整備をめざして、多様な活動関係機関との ①情報共有 ②連携・協働 ③資源開発を推進するために設置。

【第1回】（7月29日）

- ・部会の再編と今年度の取り組みについて協議

② 生活支援サービス検討委員会検討部会等の開催（第1層協議体専門部会）

- ・「第1回 生活の支え合い活動検討部会」 【7月29日】
- ・「第2回 生活の支え合い活動検討部会」 【11月6日】
- ・「第3回 生活の支え合い活動検討部会」 【12月26日】
- ・「第1回 買い物・給食サービス検討部会」 【10月28日】
- ・「第2回 買い物・給食サービス検討部会」 【1月21日】
- ・「第1回 移動・外出支援検討部会」 【12月26日】

- ・「昭和地区における買い物支援に関する検討部会」 【10月 2日】
- ・「昭和地域かいもの市～移動販売車がやってくる～」【12月12日】

③ 圏域地域包括ケア会議の開催（第2層協議体）

- ・多様な関係者主体の定期的な情報共有及び連携、協働による取組を推進する。
- ・地域性のある生活支援サービスのニーズを集約する場。
- ・総社市における地域包括ケアシステムを実現する三層構造の位置付け
（小地域ケア会議→圏域地域包括ケア会議→地域包括ケア会議）

【第1回】

中央部北（総社・池田）	5月27日（月）	総合福祉センター
中央部南（常盤・清音）	5月28日（火）	清音福祉センター
東部（三須・服部・阿曾・山手）	5月24日（金）	山手出張所
西部（秦・神在・久代・山田・新本）	5月27日（月）	久代分館
北部（昭和）	5月29日（水）	昭和公民館

【第2回】

中央部北（総社・池田）	9月25日（水）	総合福祉センター
中央部南（常盤・清音）	9月24日（火）	清音福祉センター
東部（三須・服部・阿曾・山手）	9月27日（金）	山手出張所
西部（秦・神在・久代・山田・新本）	9月30日（月）	久代分館
北部（昭和）	10月 2日（水）	昭和公民館

【第3回】

中央部北（総社・池田）	1月28日（火）	総合福祉センター
中央部南（常盤・清音）	1月28日（火）	清音福祉センター
東部（三須・服部・阿曾・山手）	1月24日（金）	山手出張所
西部（秦・神在・久代・山田・新本）	1月29日（水）	久代分館
北部（昭和）	1月31日（金）	昭和公民館

（10）介護予防のためのワークショップ in そうじゃの開催

『介護予防のためのワークショップ in そうじゃ』

日 時：令和元年12月13日（木）13：00～15：45

場 所：総社市総合福祉センター 3階 大会議室

内 容：①行政説明「総社市の現状について」

総社市長寿介護課 主査 野瀬 明子 氏

②実践発表「注文をまちがえるかもしれないレストラン」

津山市地域包括支援センター 主査 神田のぞみ 氏

「通いの場に自力参加できない人を地域でサポートしています」

備前市三石いきいき付添サポート隊 石野 充江 氏

岡崎 直恵 氏

備前市社会福祉協議会

生活支援コーディネーター 鈴木 雄 氏

③グループ討議

参加者：46人

(11) 生活支援サービスの実施（生活支援にこにこサポート事業）

① 介護予防・生活支援サポーター養成講座の開催【担い手の養成】

「誰もが安心して豊かに暮らせる」ふれあい・助けあい・支えあいのある住民主体の福祉のまちづくりの実現に向けて、高齢者等の日常生活における「生活の困りごと」を支える応援団（生活支援サポーター）を養成し、お互いに支え合う活動を通じて、（ふ）普段の（く）暮らしの（し）幸せを創出することを目的に開催。

日 程	内 容
9月5日（木） 10：00～12：00	第1回 開講式・講義 ①「介護保険制度と高齢者施策について」 市長寿介護課 野瀬 明子 氏 ②「地域福祉の取り組みについて」 市社会福祉協議会 木下 規子
14人参加	
9月11日（水） 10：00～12：00	第2回 講義 ①「生活支援にこにこサポート事業について」 にこにこサポーター 大平 節子 氏 市社会福祉協議会 中倉 将皓 ②「地域包括支援センターの役割について」 中央部南地域包括支援センター 吉福 智 氏
19人参加	
第3回・第4回 総社市医療介護市民講座から2講座以上を選択して受講	
10月31日（木） 10：00～12：00	第5回 講義 ①「いきいき百歳体操とふれあいサロン活動について」 市長寿介護課 野瀬 明子 氏 市社会福祉協議会 原 奈津季 ②「市内の支え合い活動・居場所について」 山田べんりーな 金澤 耕史 氏 なっ茶ん家 宮路富貴子 氏 浪井 陽子 氏
13人参加	
11月8日（金） 10：00～12：00	第6回 講義・グループワーク ①「地域住民の支え合い、今、地域に求められること」 美作大学 小坂田 稔 氏 ②「今、私たちにできることを考えよう」 美作大学 小坂田 稔 氏
15人参加	

・受講者数：24人（延べ） ・修了者数：10人

② 生活支援「にこにこサポート事業」

●担い手：「にこにこサポーター」（登録者数 121人）

※R1 養成講座修了者から新規登録者数 9人

●対象者：①要支援者（介護保険認定区分が要支援1・2の方）

②基本チェックリストにより判定し該当になった方

●利用料金：①1時間まで 500円 ②30分まで 300円

●利用時間：午前8時～午後5時（月曜日～金曜日）

※利用時間は、原則、1時間単位を基本（要相談）

※年末年始（12/29から1/3）、土日、祝日は除く

- サポート内容：掃除、簡単な家事、買い物、外出時の付き添い、介護予防・自立生活を支えるために必要とされるサポートの内容

- ◆実績：①利用者数：43人（男性2人／女性41人）
（要支援1：16人、要支援2：18人、事業対象者：9人）
②サポーター活動者数：（実）54人／（延）64人

③ 生活支援サポーター連絡会の開催

生活支援サポート事業の充実（仕組みづくり）をめざして、サポーター登録者相互の連携と協調を図ること、研修や情報交換を目的に定期的な連絡会を開催。

	日 程	内 容	参加
役員会	5月17日（金） 10:30～11:30	・総会について	5人
総 会	6月6日（木） 10:00～12:00	・平成30年度 事業報告・決算報告 ・役員の選出について ・令和元年度 事業計画（案）及び事業予算（案）について ・意見交換	44人
研修会	10月7日（月） 13:00～15:30	・介護予防交流フォーラム 第1部 基調講演 「人生100年時代の介護予防」 千葉大学予防医学センター 教授 近藤 克則 先生 第2部 活動発表 第3部 介護予防体操の実演	25人

（12）復興支援事業

① 復興支援センター事業の推進

- ・被災者の生活状況の把握と基盤づくり
被災者の生活状況について、戸別訪問等により現状を把握することに努めるとともに、コミュニティづくりの基盤を整備する。
- ・被災者の見守り・相談支援
仮設住宅に入居する被災者等が、それぞれの環境の中で安心した日常生活を営むことができるよう、関係機関と連携して、孤立防止等のための見守りや日常生活上の相談支援・生活支援・住民同士の交流の機会の提供等を実施する。
- ・被災者・関係者の要請によるボランティアの派遣
被災者や要配慮者等の要請により必要なボランティアの派遣を実施する。

② 職員体制

- ・復興支援センター長（社会福祉士：専任） 1名
- ・生活支援相談員（社会福祉士等の有資格者：専任） 1名
- ・生活支援相談員（ // : 地域福祉係兼務）2名

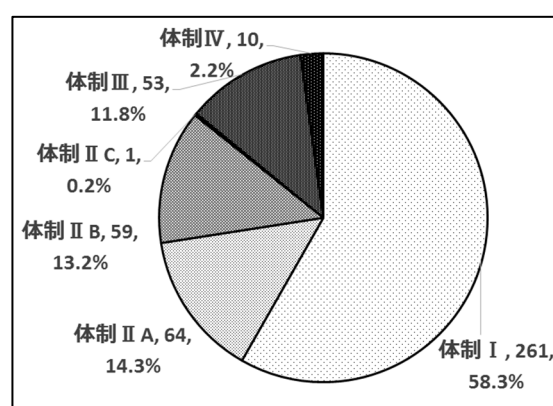
- ・生活支援相談員（補助職員） 2名
- ・事務員 1名

③ 見守り体制基準

- ・体制Ⅰ 生活再建可能世帯（1回/6カ月）
- ・体制ⅡA 日常生活支援世帯（通常の見守り：1回/3カ月）
- ・体制ⅡB 日常生活支援世帯（定期的な見守り：1回/月）
- ・体制ⅡC 日常生活支援世帯（重点的な見守り：4回/月）
- ・体制Ⅲ 住まい再建世帯（1回/3カ月）
- ・体制Ⅳ 日常生活・住まいの再建世帯（2回/月）

④ 訪問実績（建設型仮設・借上型仮設・在宅）

	下原	昭和	その他	計
体制Ⅰ	71	160	30	261
体制ⅡA	20	34	10	64
体制ⅡB	27	9	23	59
体制ⅡC	0	1	0	1
体制Ⅲ	15	34	4	53
体制Ⅳ	4	6	0	10
計	137	244	67	448



相談実績（居所別）

建設型仮設	借上型仮設	在宅	家賃助成	その他	計
901	1,052	3,353	93	326	5,725

相談内容

生活再建手続	居住関係（仮設）	居住関係（再建）	不安	健康医療	家族関係	日常生活
262	94	1072	395	1667	1011	4142
経済面	就労	社会参加	権利擁護	福祉サービス	ボランティア	その他
145	62	367	48	288	227	37

⑤ 住民同士の交流の機会の促進

居場所開催・開催支援

- ・〇カフェ ・相談ホッとカフェ（昭和公民館・おひつの家）
- ・みんな下原へ集まろう！ ・ほっとカフェ in コープ ・まび会 in 総社 等

⑥ 平成30年度豪雨災害義援金及び支援金活用事業

全国から総社市社会福祉協議会でお預かりした義援金を、被災された方にお届けする。

- ・被災者見守り応援事業（応援品活用事業）

復興支援センターの見守り対象者へ日常生活用品等を配布する。日常生活に活用していただきたいため、4つの品物から、受け取る方自身に選定してもらい、使っていただけるもの・必要なものをお届けする。

品物	洗剤セット	サロート吉備路 入浴券	総社小学校 カレーセット	タオルセット
441	249	51	101	40

※辞退者あり

・平成30年7月豪雨災害復興支援助成事業

豪雨災害により地区社協で実施できなかった社協会費・共同募金等について、事業の助成を行う。地区社協が実施する被災者支援事業について事業費の一部を助成する。

昭和地区社協	・災害復興祭「昭和愛・絆」の開催 ・「頑張っているよ！昭和」イルミネーションの開催
池田地区社協	・見守り訪問・見舞金支給
清音地区社協	・見守り訪問・見舞金支給
神在地区社協	・「下原地区炊き出し支援」の開催 ・「小さな夏祭り」の開催

（13）社会福祉法人との連携事業

平成29年7月1日、社会福祉法第24条第2項に規定される「地域における公益的な取組」を協働して行うことを目指して、総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会（愛称：ふくしネットそうじゃ）が設立しました。総社市内に拠点のある社会福祉法人（20法人）に呼びかけ、19法人が加入し、活動を展開されました。

スキーム福祉の会	金曜会	雪舟福祉会
やさい畑クムレ	超寿会	吉備のくに福祉会
梁善会	あのね保育園	新生寿会
真美会	経山会	進和福祉会
吉備路の会	すずらん保育園	総社市社会福祉事業団
総社福祉会	ももその学園	総社市社会福祉協議会
千寿福祉会		

① 総会の開催（6/6）

【総会】（参加者：20人）

・平成30年度 事業報告及び決算報告 ・令和元年度 事業計画及び予算計画など

② 役員会の開催

・3回（5/10・9/10・3/23）開催

③ 部会の開催

〔事業部会〕 3回

〔調査・研修部会〕 2回

④ くらし応援事業の実施

おかやまコープ総社東店、総社市生活困窮支援センターとの協働でフードドライブを実施した。

(趣旨) 食料品の寄付を募り、いただいたものを生活困窮支援に役立てる活動。

第1回 令和元年10月26日(土) 10:00~13:00

参加者: 12名(社会福祉法人8名、おかやまコープ4名)

協力者: 25名 協力法人: 8法人

総数: 1756個 総重量: 186kg

第2回 令和2年2月26日(土) 10:00~13:00

参加者: 12名(社会福祉法人8名、おかやまコープ4名)

協力者: 25名 協力法人: 8法人

総数: 650個 総重量: 171kg

⑤ しごと応援事業の実施

ひきこもりの方などを対象に、ボランティアや就労を体験できる機会として福祉施設等で受け入れ、社会参加や自立生活に向けた支援を行う活動。

実績: 経山会(特別養護老人ホーム 三清荘) 1名

雪舟福祉会(結いのさと愛家里) 1名

吉備路の会(吉備路学園) 1名

⑥ 安心すまい応援事業の実施

DV被害者の一時避難先や、生活困窮者の一時的な生活の場(宿泊等)として受け入れる活動。

実績: 吉備路の会(吉備路学園) 4名

超寿会 3名

⑦ 子育て応援事業の実施

子育てに課題や悩みを抱える保護者を対象に、育児への関わり方のヒントを提供したり、共に考える機会を提供する活動(ペアレントサポート)。

実績: 社会福祉事業団(障がい児通園施設 はばたき園)

第1回 令和元年 7月 7日(日) **第2回** 令和元年 7月21日(日)

第3回 令和元年 8月 4日(日) **第4回** 令和元年 8月18日(日)

第5回 令和元年 9月 8日(日) **振り返り** 令和元年10月27日(日)

⑧ 新たな取り組み応援事業の実施

市内で先駆的かつ公益的な取り組みで、公的助成が見込めない団体に対し、必要経費の一部を助成する活動。

⑨ 災害時の連携について

市内で発生する災害に対し、社会福祉法人のネットワークで対応するための検討を行う。

⑩ アンケート調査の実施

アンケート調査を実施した。そして、アンケート調査から得た地域課題に対し、地域と社会福祉法人が連携し、課題解決に向け、必要な事業を開拓に努める。

【法人用】

回答者：16法人（76.2%）

属性：高齢分野6、障がい分野6、児童分野3、地域福祉分野1

【地域用】

回答者：343人

属性：民生委員・児童委員、主任児童委員、福祉委員、企業、利用者家族など

4. 子育て支援事業

（1）子育てサロン事業の支援

- ・子育てサロンへの相談支援（9か所）
- ・活動助成金の交付
- ・備品の貸し出し

（2）地域密着型子どもまつりの開催支援（地区社協子育て支援事業助成）

- ・地区社会福祉協議会と連携して地域密着型の子どもまつりの開催
- ・多世代交流事業としても開催

地区	日程	参加人数	行事名	内容
総社	11/18	65人	総社北ゆうあい児童クラブ グラウンドゴルフ大会	対象者：児童、ボランティア、総社市地区社協 委員 グラウンドゴルフでの交流
池田	10/27	26人	池田地区「子育て 交流会」（第3回）	対象者：未就学児、幼稚園、小学生 ドッジビー他各種ゲーム及びビンゴゲーム
清音	10/19	約200人	清音いきいき 健康福祉まつり	対象者：乳幼児から高齢者（三世代交流） 魚釣り、小麦粉粘土、ポーリング、玉入れ等
三須	11/10	約300人	第22回ふれあい文化まつり 園児・幼児ふれあい広場	対象者：乳幼児、園児、地域の方（三世代交流） 幼児ふれあいコーナー（魚釣り、作品展示、遊戯発表）
服部	8/24	60人	夏休みお楽しみ会	対象者：小学生、幼児、保護者、ボランティア カレー、フルーツポンチ作り、大学生、高校生と交流遊び、読み聞かせ
山手	6/13	123人	やまてちびっこまつり	対象者：就園前の乳幼児と保護者 山手地区の子育てにかかわる団体・グループ総出で楽しいステージ、手作りおもちゃ、シャボン玉、ボールハウス等
久代	11/1	38人	久代地区民児協と久代幼稚園とのふれあい交流事業	対象者：幼稚園児、地区社協、民生委員児童委員 紙芝居、野菜ダンス、子ども相撲、竹とんぼ、こま、わらべ唄
昭和	9/14	500人	五つ星学園子どもまつり	対象者：子どもから大人 ステージ、バザー、ワークショップ

5. 高齢者福祉事業

(1) 地区給食サービス事業の実施（地区社協主催で実施）

- ・原則年9回実施
- ・実績 延9,220食（上期 4,144食 下期 5,076食）
- ・ボランティア人数 延2,399人（上期1,058人 下期1,341人）

(2) 敬老会の開催（地区社協主催で開催）

地区社協ごとに4月下旬から11月初旬にかけて実施

対象者： 6,140人（80歳以上）

参加者： 2,311人（参加率20.0%）

地区	開催日		会場	開催内容	対象者	参加者
総社	5/12（日）		総合福祉センター	・総社つゆ草の会 ・コール総社 （演劇、コーラス）	1,599 人	270 人
常盤	5/12（日）		サンワーク総社	・健康アドバイス ・こども神楽	755 人	145 人
池田	4/28（日）		池田小学校体育館	・こども神楽	169 人	94 人
清音	黒田	9/16（月）	黒田デイサービスセンター	・食事会（弁当） ・ビンゴゲーム	538 人	13 人
	古地	9/13（金）	古地公会堂	・手遊び ・ビンゴゲーム		21 人
	上中島	10/9（水）	サントピア総社岡山	・グラウンドゴルフ ・散策		49 人
	柿木	10/3（木）	やま幸	・食事会 ・演劇鑑賞		79 人
	軽部	6/3（月）	清音福祉センター	・身近な防災、減災対策 ・ビンゴゲーム ・バンド ・会食		103 人
	三因	11/12（火）	島根県境港さかなセンター、安来節演芸館	・ゲーム ・買い物 ・演芸鑑賞 ・昼食		40 人
	小計				538 人	305 人
三須	5/21（火）		三須分館（コミュニティハウス）	・園児による演芸 ・そらゆめメンバーによる歌	358 人	88 人
服部	4/25（木）		食事処「前田」	・幼稚園児の演芸 ・特殊詐欺防止の寸劇 ・大黒天による紅白饅頭手渡し	210 人	119 人
阿曾	5/11（土）		阿曾小学校体育館	・大正琴、舞踊 ・銭太鼓、体操 ・成羽子ども神楽	438 人	206 人

山手	9/14（土）	山手公民館	・劇団「たんぽぽ」による演劇	376 人	136 人
秦	5/17（金）	サントピア岡山総社	・福井さんグループによるマジック ・踊り ・神楽	217 人	123 人
神在	5/12（日）	サントピア岡山総社	・神在小児童有志による合唱 ・演技、演奏 ・ピアノ演奏、クイズ	181 人	135 人
久代	5/12（日）	久代分館	・大正琴 ・日本舞踊 ・劇団「たんぽぽ座」による公演	344 人	164 人
山田	4/29（月）	山田分館	・大正琴 ・劇団「たんぽぽ座」	101 人	86 人
新本	5/6（月）	新本小学校	・大正琴 ・詩吟 ・備中神楽	256 人	147 人
昭和	5/19（日）	昭和中学校	・備中神楽（こども神楽）	598 人	293 人
計				6,140 人	2,311 人

（3）高齢者等団体（老人クラブ、ひとり暮らし高齢者の会、介護者の会）の支援

① いきいきシニア総社（総社市老人クラブ連合会）

- ・56クラブ 3,549人
- ・主な事業：総会、研修会、グラウンドゴルフ大会、ペタンク講習会、ペタンク大会、女性委員会主催行事

② 松寿会（ひとり暮らし高齢者の会）

- ・対象：市内在住で65歳以上の一人暮らしの方
- ・会員：97人
- ・内容：総会、交流会、移動研修、講演会、役員会

③ 総社介護者の会

- ・対象：身体に不自由な方等を介護している方、介護体験者等
- ・会員：32人
- ・内容：総会、茶話会、研修旅行、料理教室、役員会

(4) そうじゃ60歳からの人生設計所（生涯現役促進事業）の設置運営

高年齢者の就労や創業、社会参加等の希望を相談できるワンストップ窓口。

業務内容、就労時間、雇用形態などひとりひとりにあった働き方をハローワーク、シルバー人材センターなどの関係機関と連携しながらマッチングするお手伝いや高齢者雇い入れ企業の開拓を行なった。また、ボランティアなどの地域・社会参加活動の情報提供も行なった。令和2年4月からは、シルバー人材センターが人生設計所を運営（相談窓口は社会福祉協議会内に設置）

○実績

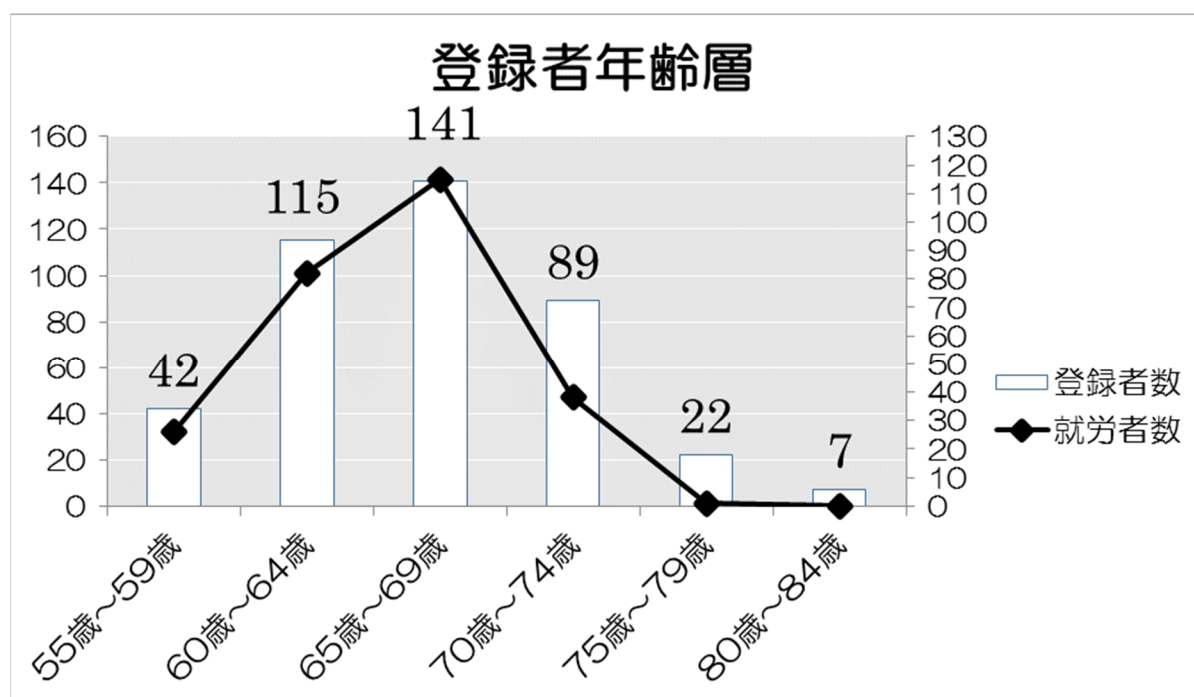
- ・相談延件数 1, 890人
- ・実相談者数 97人（うち登録者72人 男：34人 女：38人）
- ・年齢 55歳～81歳
（平均年齢 66歳）
- ・就労者数 77人

【主な就職先】

食品製造業、清掃業、小売業、サービス業、福祉施設など

【主な地域・社会参加活動】

講座講師、各種養成講座への参加、学習支援事業「ワンステップ」、にこにこサポーターなど



6. 障がい者福祉事業

(1) 障がい者基幹相談支援センターの設置運営

① 相談支援の実施（電話、来所、訪問、その他）

基幹相談支援センターは、地域における障がい者相談支援の中核的な役割を担う機関です。

（相談支援を利用している障がい者等）

（人）

	実人員	身体	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他
障がい児	87	3	16	3	34	0	1	41
障がい者	160	12	53	52	43	2	0	31
計	247	15	69	55	77	2	1	72

（相談支援方法） 合計 3,427 件

（件）

		訪 問	来所 相談	同行 訪問	電話 相談	E-mail	ケア 会議	関係 機関	その他
相談者数 (実数)		151	386	36	1,677	51	96	593	47
内 訳 ※ 重 複 あ り	身体	14	10	4	102	0	3	18	0
	知的	39	114	17	345	1	40	218	27
	精神	57	113	12	1,028	12	27	150	9
	発達	29	135	9	286	20	22	216	13
	高次脳	0	2	0	1	0	0	3	0
	難病	0	0	0	0	0	5	1	0
	その他	17	72	1	99	19	12	103	2
計		156	446	43	1,861	52	109	709	51

② 障がい者地域移行・地域定着支援の実施

基幹相談支援センターとしては、指定一般相談支援事業者としての地域移行・地域定着支援は実施していません。基幹相談支援センターに求められる役割の一つとして、入所施設や精神科病院等と連携し、障がいのある方の地域移行・地域定着をサポートしています。

(2) 発達障がい者支援体制整備事業

① 発達障がい者支援ネットワークの構築

発達障がい者支援体制整備事業は、総社市における発達障がい者（児）について、乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備を図り、発達障がい者（児）の福祉の向上を図ることを目的としています。

総社市では、発達障がい支援コーディネーターを基幹相談支援センターに配置し、障がいに関するワンストップの相談窓口を設置しています。基幹相談支援センターは総社市地域自立支援協議会事務局を担っており、相談者個人の問題とするのではなく、広く総社市の地域課題として、行政をはじめとする関係機関と協議していく体制を構築しています。障がい者千人雇用センターとの連携を含め、学校卒業後も見据えた、生涯にわたる一貫した支援を提供する体制を整備していきます。

○ 相談支援実数159人（延1,802件）

- ・ 児童 81人（うち 未診断・未確認46人、知的障がいを伴う14人）
- ・ 成人 78人（うち 未診断・未確認36人、知的障がいを伴う34人）

（相談支援方法） 計 1,802 件

（件）

訪問	来所 相談	同行 訪問	電話 相談	E-mail	ケア 会議	関係 機関	その他
66	283	17	861	47	73	431	24

○ 関係者の研修・その他の取組等

（主催の講座・研修等）

- ・ 総社市地域自立支援協議会 療育支援事業所連絡会
 - 7月10日（水）療育の今とこれから～発達支援・家族支援・地域支援～
講師：後藤 崇 氏（倉敷成人病指定相談支援センター）
 - 11月26日（火）療育の今とこれからの期待されること
～行政・保護者の立場から～
講師：総社市教育委員会こども夢づくり課 芳賀恵美子氏
岡山県ペアレントメンター Mama コロン 守安 美保氏
- ・ 総社市地域自立支援協議会 こどもに寄り添う連絡会
 - 4月28日（日）きょうだい支援イベント
『みんなでつながるアソビバ！シャベリバ！』
参加：（家族）15家族、（子ども）31名
協力団体：総スポねっと 場所：きびじアリーナ
 - 1月27日（月）サポートブックよろしくね説明会
～我が子をよく知ってもらうために～
講師：総社市障がい者基幹相談支援センター 山田 新二
- ・ 自閉症支援トレーニングセミナー in 総社
 - 6月30日（火）基礎セミナー
参加者：60名 場所：総社はばたき園
 - 9月22日（日）、23日（月）実践セミナー
参加者：12名（内11名修了） 場所：総社はばたき園
- ・ 11月 5日（火）子育て支援の地域における連携を考える会研修会
講演：私らしく生きる～ありのままを受け入れて～
講師：瑠璃真依子
情報提供：障がいのある方のライフステージに合わせた
相談機関について① 母子保健、② 教育、③ 福祉
参加者：61名

- ・ 発達障がい支援者養成講座「みんなで学ぼう！発達障がい」（全5回）
講 師：重松 孝治 氏（川崎医療福祉大学 講師）
申込者：132名、延べ参加者：347名

（コーディネーター派遣等）

- ・ 5月14日（火） 第2回 特別支援教育担当者研修会
- ・ 6月19日（水） ノートルダム清心女子大学 社会福祉援助演習Ⅴ
- ・ 6月20日（木） スキーム福祉の会職員研修
- ・ 8月23日（金） 倉敷まきび支援学校 総社地区 生活・働くを知る会
- ・ 9月13日（金） 岡山東支援学校 進路講演会
- ・ 9月18日（水）、10月31日（木） 障がい者ふれあいボランティア講座
- ・ 10月 2日（水） 障がい者差別解消法 総社市職員向け研修会
- ・ 2月17日（金） 学校教育課 進路説明会
- ・ 総社市全国屈指福祉会議 発達障がい児支援部会
- ・ 総社市教育支援委員会委員
- ・ 総社市4歳児発達支援事業の相談支援チームとして、市内幼稚園、保育所（園）等を訪問
- ・ 総社市教育支援委員会専門家チームとして、市内小中学校、幼稚園、保育所（園）を訪問
- ・ 総社市内の放課後児童クラブ（1か所）を定期的に訪問し、助言等を行っている
- ・ （総社はばたき園）総社市ペアレントサポート事業にスタッフの一員として参加

（その他）

- ・ 総社市地域自立支援協議会の事務局を運営している
- ・ 総社市地域自立支援協議会 こどもに寄り添う連絡会を開催（年5回）
- ・ 総社市地域自立支援協議会 療育支援事業所連絡会を開催（年2回）

② 発達障がい支援者養成講座の開催

自閉症等の発達障がい児（者）の保護者及びその支援に関わる人たちに、専門的知識を提供する機会を設け、発達障がい児（者）の支援に関する専門性を高めることを目的とし開催した。

【発達障がい支援者養成講座】「みんなで学ぼう！発達障がい」

5回開催（10/15・11/19・12/19・1/14・2/20）

場 所：総社市総合福祉センター

対 象：総社市在住の発達障がい児（者）の保護者及び支援者など

講 師：川崎医療福祉大学 子ども医療福祉学科 講師 重松孝治 氏

内 容：第1回 発達障がいの特性

第2回 個々の子ども理解に応じたアプローチ

第3回 子どもに伝わる伝え方

第4回 子どもからの発信を育てる

第5回 育ちに応じた関わり

申込者数：132人

参加者数：延347人

③ 自閉症支援トレーニングセミナー in 総社の開催

自閉症の特性を理解し、支援方法の実践トレーニングを行い、支援方法の習得を目的とし開催した。

(基礎セミナー)

開催日：令和元年6月30日

場 所：総社はばたき園

講 師：自閉症eサービス 代表 中山清司 氏

内 容：講義①「自閉症の特性理解と構造化のアイデア」

講義②「アセスメントの実際」

講義③「コミュニケーションの支援」

参加者：60名

(実践セミナー)

開催日：令和元年10月5日、6日

場 所：総社はばたき園

講 師：自閉症eサービス 代表 中山清司 氏

川崎医療福祉大学准教授 諏訪利明 氏

内 容：(1日目) 自閉症の特性理解、クラスルームの構造化、
保護者の思い、自立課題の作成ほか

(2日目) コミュニケーション、構造化の展開、今後の活かし方

参加者：12名(内11名修了)

④ 世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間啓発イベントの実施

自閉症の理解・啓発の一環として、当事者の方の作品を展示した。

日 時：平成31年4月2日～4月8日

場 所：総社市役所セントラルロビー

(3) 障がい者千五百人雇用センターの設置運営

(就労者数：1,129人 ※本センター支援実績含む)

① 障がい者就労支援の推進(就労者数：1,129人)

障がい者千人雇用センターでは、専門職員を配置(千五百人雇用ワーカー3人、ハローワーク職員1人)し、働きたい障がい者と、雇用したい企業との間に入り、きめ細やかな支援を行っている。就職後も職場を訪問し、アフターケアを行っている。

相談件数(延)：5,679件

就職件数：90件・職場実習：53件

○障がい種別(延) (件)

身 体	知 的	精 神	発 達	高次脳	難 病	その他
569	1,373	3,098	1,205	210	26	60

○就労状況(延) (件)

在職中	求職中
3,298	2,381

○相談方法(延) (件)

訪問	来所	電話	e-mail	その他
618	1,218	3,480	73	290

② 障がい者就労支援セミナー2019 in そうじゃの開催

地域の企業等を対象に、精神障がい者への理解を深め、安定して生き生きと働き

続けることができる場を増やすことを目的として開催した。

日 時：令和元年11月30日（土）13:30～15:30

場 所：総社市総合福祉センター3階 大会議室

内 容：

- （１）講 演「なぜ、SPiSは精神・発達障害者等の就労定着に役立つのか」
講 師：一般社団法人SPiS研究所 理事長 宇田亮一 氏
- （２）情報提供「障害者雇用施策について」
発表者：倉敷中央公共職業安定所 総社出張所 所長 石原祥雅 氏
- （３）実践紹介「定着支援の取り組みについて」
発表者：株式会社ベネッセビジネスメイト
企業在籍型職場適応援助者 川上奈津江 氏

参加者：52名

（４）障がい者地域活動支援センター（Ⅰ型）「ゆうゆう」の設置運営

① 日中活動支援事業（創作的活動、生産活動、社会との交流促進等の事業を実施）

地域活動支援センター「ゆうゆう」は、総社市在住で18歳以上の障がいのある方を対象としている。障がいのある方の地域生活を支援するために専任の職員を配置し、日中活動の場の提供、地域交流などの各事業を実施している。障がいのある方・ご家族にとって住みやすいまちづくりをめざし、当事者主体の活動拠点として事業を行っている。

- ・日中活動利用者 延人数 1,380人、登録者数 60人
- ・日中活動支援 利用者が自主的に行事を考え、活動に参加できるように支援をする。（創作活動、料理教室等）
- ・地域交流事業（行事の企画実施）
- ・広報・啓発事業 ゆうゆう通信の発行（月1回）

② 障がい者ふれあいボランティア講座の開催

障がいについて正しい知識と理解を深めるとともに、障がい者のサポーター（ボランティア等）を養成することを目的に開催しました。

開催日：令和元年9月18日、10月3日、10月31日

場 所：地域活動支援センター「ゆうゆう」

内 容：

- （１）「障がいのある方と関わるために①」
 - ・支援者の話を聞いてみよう～障がいの特性について～
 - ・当事者の話を聞いてみよう～リカバリー体験ほか～講 師：NPO法人ピアサポートセンター「ひといろの実」ほか
- （２）「障がいのある方と関わるために②」
 - ・総社市内の障がい者福祉施設の見学
- （３）「障がいのある方と関わるために③」
 - ・実習を通しての振り返り

参加者：3名

（５）地域自立支援協議会の運営

① 全体会議・運営会議・実務担当者会議・部会・プロジェクトチームの運営

総社市では、平成19年3月から「総社市地域自立支援協議会」が設置されており、事務局を総社市障がい者基幹相談支援センターが担っている。

障がい者福祉の関係機関の情報共有及び連携を図るとともに、障がい者福祉に関する支援システムの構築、生活に必要な社会資源の創出・改善などを協議することで、

障がいのある方が総社市で安心して暮らせることを目指して開催した。

当事者団体、家族、施設、関係機関、行政関係者など70以上の団体・機関から構成されている。

(地域自立支援協議会開催状況)

- 全体会議 1回開催(6/28)
- 実務担当者会議 1回開催(9/20)※ 委員向けの研修会として開催
- 運営会議 4回開催(5/17・7/19・11/13・1/17)
- 専門部会・プロジェクトチーム・連絡会

No	専門部会名	開催回数
1	住まいを考える部会	6回
2	地域生活支援拠点等検討プロジェクトチーム	8回
3	医療的ケア児支援体制検討プロジェクトチーム	5回
4	相談支援事業所連絡会	5回
5	こどもに寄り添う連絡会	4回
6	日中活動事業所連絡会	6回
7	日中一時支援事業所連絡会	6回
8	療育支援事業所連絡会	2回
9	ハートフルそうじゃ実行委員会	11回

- 障がい者福祉フォーラム(ハートフルそうじゃ)の開催(12月7日)

障がい者週間にあわせて実行委員会形式で開催(参加者約500人)

- 地域自立支援協議会研修会(実務担当者会議)

- ・住まいを考える部会 宿泊体験 ①4月10日～12日、②5月21日～24日
- ・4/28 きょうだい支援のイベント「みんなでつながるアソビバ!シャベリバ!」
- ・6/8 日中活動事業所説明会
- ・9/9 先進地視察(地域生活支援拠点等整備)広島県廿日市市
- ・11/23 日中活動事業所連絡会販売イベント(サンロード吉備路)
- ・12/7 ハートフルそうじゃ
- ・1/27 こどもに寄り添う連絡会主催 サポートブックよろしくね説明会
- ・2/4 相談支援事業所連絡会研修 ファシリテーションスキルアップ研修

- 岡山県自立支援協議会事務局連絡会 2回開催(9/6・2/7)

- 備中圏域自立支援協議会連絡会 2回開催(7/29・1/31)

(6) 障がい者福祉フォーラム(ハートフルそうじゃ)の開催

障がい者福祉をより重層的・包括的に実践していくためには、当事者、家族、住民、ボランティア、医療・福祉関係者、行政等が更に連携して支援システムづくりを推進する必要がある。そこで、本フォーラムを契機として、障がいのある方が地域で安心して暮らせるまちづくりの推進を目指し、障がい者福祉フォーラム(ハートフルそうじゃ)を「障がい者週間」にあわせて開催している。

テーマ: ハートフルそうじゃ ～ありがとうを伝えよう～

日時: 令和元年12月7日(土) 13:00～16:00

会場: 総社市総合福祉センター・総社市保健センター

参加者: 約500人

内容・日程

(3 階)

開会式（オープニングセレモニー）

あいさつ 総社市長 片岡 聡一

総社市地域自立支援協議会ハートフルそうじゃ実行委員会

実行委員長 岩藤 朝哉

“アンダンテ”による歌の発表

ハートフルそうじゃ10年間の振り返り動画（5分程度）

チャッピー体操「みんなでカラダを動かそう♪～チャッピーでハッピー～」

ライブペインティング（ダイオードデザイン 渡辺俊夫氏・山本直樹氏）

(2 階)

販売・カフェコーナー

福祉施設・事業所等の飲食物等の販売・飲食スペース

コラボごはん（福祉事業所で作った野菜などを使って、料理をふるまう）

体験コーナー（要約筆記・点訳体験・手話体験）、展示コーナー

ピアノ演奏

福祉事業所による寄せ植えワークショップ

(1 階)

プレイゾーン（おもちゃあそび、療育支援事業所紹介など）

販売コーナー

(全館)

スタンプラリー

(7) 障がい者（児）団体の支援

障がい者（児）団体に対し、団体の活動に関する情報提供や要望に応じて助言している。また、事務局や運営委員の一員としての役割を担うなど、団体活動のサポートを行った。

- ・総社市インクルージョン推進事業協議会
- ・総社市身体障害者福祉協会

7. 権利擁護事業の設置運営

(1) 権利擁護センター“しえん”の設置運営

① 虐待防止対策事業の実施

行政や関係機関と連携して「高齢者虐待」「障がい者虐待」「児童虐待」「DV」に関する支援を行った。

・相談実績

	高齢者虐待	障がい者虐待	児童虐待	DV
実 数	63 人	7 人	10 人	8 人
延対応数	802 件	124 件	562 件	50 件
平均対応数	12.7 件	17.7 件	56.2 件	6.3 件

② 成年後見支援事業の実施

市民や支援者からの成年後見制度における相談支援を行った。

・相談実績 実数：65 人 延対応数：455 件 平均対応数：8.3 件

③ 入院・入居支援事業の実施

賃貸住宅等への入居に関する契約等の困難に対応するため支援を行った。

・相談実績 実数：12 人 延対応数：97 件 平均対応数：8.1 件

④ 犯罪被害者支援

犯罪被害にあった方への支援を関係機関と連携して行った。

・相談実績 実数：1 人 延対応数：3 件 平均対応数：3 件

・犯罪被害者支援講演会（11 月 25 日）の開催

講演「DV や虐待を防ぐために ～今、私たちにできること～」

講師：社会心理学講師・カウンセラー 市場 恵子 氏

対象：一般市民

参加者：16 名

(2) 権利擁護センター運営委員会の開催

① 運営委員会の開催

権利擁護センター運営のための事業計画の審議や事業の進捗状況管理を目的に開催した。

開催日	内容
4 月 17 日	- 平成 30 年度権利擁護センター実績報告について - 中核機関の設置について - 市民後見人登録選考委員会からの報告及び総社市への答申について - 平成 31 年度権利擁護センター事業計画（案）について - 市民後見人の活動形態について - 総社市権利擁護センター設置規程の改正について
6 月 20 日	- 高齢者虐待対応評価ワーキンググループからの報告 - 総社市権利擁護センター設置規程の改正について - 地域包括支援センター職員の自己研鑽の協力について

9月26日	・総社市市民後見人養成研修受講者選考について ・総社市市民後見人養成研修の内容について ・支援検討委員会での協議について
3月30日	・市民後見人登録審査会の委員選出について ・ワーキンググループからの報告について ・令和2年度権利擁護センター事業計画（案）について

② 支援検討委員会の開催

個別事例の支援調整、困難事例の検討、事例を通じた研修を実施した。

開催日	内容
4月17日	・事例検討（1件） ・検討事例状況報告
5月16日	・事例検討（1件） ・検討事例状況報告
6月20日	・事例検討（1件） ・検討事例状況報告
7月18日	・事例検討（2件） ・検討事例状況報告
8月29日	・総社市市民後見人養成研修 受講者面接の委員選出について ・事例検討、受任者調整、法人後見運営委員会の区別方法について ・検討事例状況報告
9月26日	・市民後見人の複数後見への移行について ・検討事例状況報告
10月29日	・検討事例状況報告
12月19日	・検討事例状況報告
1月16日	・検討事例状況報告
3月30日	・検討事例状況報告

③ ワーキンググループの開催

権利擁護課題の解決に向けて、ワーキンググループを設置し、調査、研究を行った。

・高齢者虐待対応評価ワーキンググループ

開催日	内容
5月29日	・高齢者虐待対応フロー図について ・三者（市・地域包括支援センター・権利擁護センター）の役割について

・中核機関体制整備ワーキンググループ

開催日	内容
8月21日	・受任者調整の仕組みの見直しについて
12月19日	・後見等候補者リストの作成について

- ・成年後見制度利用促進ワーキンググループ（新規）

開催日	内容
9月6日	・成年後見制度利用支援事業の見直しの提案について
11月12日	・成年後見制度利用支援事業の見直しの提案について
2月28日	・成年後見制度利用支援事業の見直しの提案について

（３）成年後見制度に関する啓発事業の実施

成年後見制度や市民後見人の活動の理解と周知・啓発を目的に、成年後見セミナー及び市民後見人養成研修の説明会を開催。また、個別の相談に対応するため成年後見制度無料相談会を実施した。

① 成年後見セミナー及び市民後見人養成研修説明会

内 容：講演「成年後見制度基礎講座」

講師：パブリック法律事務所 社会福祉士 尾崎 力弥 氏

実施日：令和元年 7 月 28 日

受講者：8 名

② 成年後見制度無料相談会

成年後見制度に関する相談に専門職（弁護士・社会福祉士）が対応した。（予約制）

実 施 日：毎月第 2 木曜日 14：00～16：00（計 11 回）

相談件数：10 件

（４）市民後見人養成事業の実施

市内で市民後見人として活動いただける方を養成することを目的に開催した。

今年度は 2 人が次の研修を受講し修了した。

① 岡山県市民後見人養成講座

令和元年 10 月 13 日～12 月 15 日の 7 日間で、成年後見制度や市民後見人活動の基礎的内容について、知識・技術を習得していただいた。

② 総社市市民後見人養成研修

総社市における地域福祉の取組、市民後見概論や専門的な関係制度・民法の基礎事項を行政や弁護士・司法書士等を講師として研修会を実施し、受講いただいた。

実施日：令和 2 年 1 月 8 日～2 月 26 日の 4 日間

現場実習（施設見学・後見人同行）

(5) 市民後見人フォローアップ事業の実施

① 市民後見人定例研修会

市民後見人登録者 18 人を対象に、成年後見業務に関する知識や技術の向上を目的に奇数月第 3 水曜日に開催した。

日程	内容
5 月 15 日	・本年度の研修会の内容について
7 月 17 日	・「成年後見制度利用促進に向けた中核機関の設置について」
9 月 18 日	・市民後見人活動報告
11 月 20 日	・施設見学、法人後見事業視察（旭川荘）
1 月 15 日	・「公証人役場の概要と役割、相続と遺言について」
3 月 18 日	・VRシステムを活用した認知症出前研修会 ※中止

② ネットワーク連絡会（そうじゃ権利擁護ねっと）の開催

専門職同士（医療・福祉・司法）のネットワーク構築のため、権利擁護に関する勉強会や意見交換を行った。

- ・第 5 回（9 月 6 日）参加者：16 人
- ・参加職種：弁護士、司法書士、社会福祉士、医師、介護支援専門員
相談支援専門員、市民後見人

③ 受任後のフォローアップ

市民後見人定例研修会と兼ねて実施。また、定例の後見人訪問日などに支援の方針などを話し合った。

④ 総社市市民後見人養成研修会への参加

市民後見人養成研修（市独自研修）に現任の市民後見人も受講。知識や技術のフォローアップの機会を提供した。

(6) 市長申立て事務の実施

総社市が行う成年後見制度の市長申立てにおいて、担当部署と連携し、申立て書などを権利擁護センターが作成する。

(7) ミニなんでも相談会の開催

市民が、安心して地域で生活できるように、法律や福祉などについての相談会を開催し、権利擁護センター運営委員である、弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門職が相談員を務めた。また、この相談会を通じて支援につながるきっかけ作りとなった。

- ・第 1 回（11 月 7 日）相談者：6 人
- ・第 2 回（2 月 4 日）相談者：5 人

(8) 弁護士による専門職向け法律相談の実施

① 弁護士による専門職向け法律相談の実施

専門職を対象に総社市権利擁護センター弁護士が、相談事例における法律的な支援について必要な助言等を行った。

- ・相談者数：11人
- ・相談事例
 - 市営住宅で身寄りのない賃借人が死亡した場合や相続人が賃借物件の明け渡しに非協力的な場合の残置物の処分、家賃滞納の回収、明け渡し等について
 - 市内の空き家の所有権の相続人調査について

② 法律ミニ講座の開催

市民や専門職に法律の正しい知識を身につけることを目的に開催した。

講師：総社市権利擁護センター 小田弘昭弁護士

日程	内容	参加者
6月27日	消費者問題～悪質商法から身を守る方法～	4人
7月25日	債務整理～生活の再建のために～	3人
9月26日	離婚問題①～離婚するには？子どもはどうか？～	7人
10月24日	離婚問題②～財産分与や慰謝料の基礎知識～	6人
12月26日	交通事故～被害者や加害者になってしまったら～	6人
1月23日	労働問題～労働者の権利と保護～	5人
2月27日	相続①～もめないための遺言～	中止
3月26日	相続②～知っておきたい、遺産分割の基本～	中止

(9) 高齢者虐待防止研修会の実施

「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）」の趣旨を理解するとともに、高齢者虐待防止に向けた基本的視点を学習することを目的に開催。

高齢者虐待対応現任者研修（新規）（1月30日・2月12日・2月25日）

内 容：岡山県で行われる高齢者虐待対応現任者研修を総社版で実施

講 師：岡山県内の社会福祉士

対 象：総社市高齢者虐待対応担当職員、総社市地域包括支援センター職員

参加者：11名

(10) 日常生活自立支援事業の実施

① 日常生活自立支援事業の実施

- ・令和元年度 利用者数：15人（内利用予定1人）

② 生活支援員による援助の実施

- ・令和元年度 生活支援員登録者数：18人（内12人が活動中）

(11) 法人後見事業の実施

① 法人後見事業の実施

- ・受任件数 13件（後見6件、保佐5件、補助2件）

② 市民後見人による後見業務の実施

- ・市民後見人登録者 18人（内 12人が活動中であり、複数後見5人、法人後見支援員7人）

8. 生活困窮者支援事業

(1) 生活困窮支援センターの設置運営

① 自立相談支援事業

相談者が抱える問題について応じ、必要な情報提供や助言を行い、支援プランを作成して生活困窮者の自立の促進を行った。

- ・相談者数：165 人
- ・延相談件数：8,090 件
- ・1人あたりの支援回数：49 回

② 家計相談支援事業

相談者が自らの家計の状況に気づき、それを理解した上で、そこから見える課題を把握して家計の再生に向けた具体的な方針を立て、相談者が自ら家計管理できるよう支援を行った。（自立相談支援事業の相談者と重複）

- ・プラン作成件数：18 件

③ 家計相談会

将来設計や節約のポイントについて、専門的なアドバイスを受けるため、ファイナンシャル・プランナーによる家計相談会を行った。

- ・実施回数：年間 6 回
- ・相談者数：延 7 人

④ 支援調整会議の開催

相談者の目指す姿（目標）や、目標の実現に向けて相談者が取り組むこと、支援内容等を支援計画としてまとめたものが課題解決に向けた内容となっているか、サービス提供者は適切か、等について関係者間で協議する。また支援者や関係者が認識を共有するための場として開催した。

- ・開催回数：12 回
- ・プラン作成件数：33 件
- ・終了件数：19 件

(2) 学習等支援事業「ワンステップ」の実施

生活困窮世帯の子どもを対象に学習支援や進路などの相談できる場を提供した。また、学習を教える大学生や教員OB・OG等との交流により子どもたちの将来を育てる場など子どもたちの居場所としても機能した。

① 学習支援（中高生版）

参加中学生数：14人（1年生：5人、2年生：5人、3年生：4人）

参加高校生数：9人（1年生：5人、2年生：3人、3年生：1人）

参加大学生：34人（岡山大学生：18人、県立大学生：16人）

地域の協力：3人（教員・塾講師・ワンステップのOB・OG）

実施回数：94回（火曜日と金曜日に実施）

② 学習支援（小学生版）

NPO 法人保育サポート「あい・あい」に委託して実施

参加小学生数：4人（2年生：1人、4年生：1人、6年生：2人）

サポーター：8人

実施回数：46回

③ 振り返り及び成果報告会

開催日：令和元年7月13日、11月16日、令和2年1月25日、2月15日

会場：総社市総合福祉センター、岡山大学

参加者：岡山大学生、岡山県立大学生

内容：大学生の学習支援における課題を共有し、解決策を話し合う。また、本事業の改善点も検討した。

④ オープンキャンパスへの参加

開催日：令和元年7月20日、令和元年8月10日

会場：岡山県立大学（総社市）、岡山大学（岡山市）

対象：ワンステップ参加生徒の希望者

内容：生徒が大学のオープンキャンパスに参加し、大学生が生徒を案内し、大学内を見学した。

⑤ 社会文化プログラム

実施無し

⑥ 職業人の話を聞く会

開催日：令和元年12月17日（火）

会場：総社市総合福祉センター

対象：ワンステップ参加生徒

内容：生徒が民間企業で活躍する職業人（営業職・アパレル関係）から、職業に就くまでの過程や仕事の魅力等の話を聞き、将来について考える機会を設けた。

(3) 食糧支援に関する事業の実施

食糧ロスの削減、食育の機会を図るとともに、地域住民の方からの寄付、フードバンク、順正学園、コープなど関係機関と連携、協働し、生活困窮世帯等へ生活の改善、自立につながる食糧支援を実施した。

また、総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会及びコープと協働し、2回のフードドライブを実施した。自宅や会社等で余っている食糧を持ち寄っていただき、支援に活用すると共に、活動を通じて生活困窮者支援活動の周知を図ることができた。

(4) 子ども食堂支援事業の実施

子ども食堂の開設や興味のある方を対象にネットワークづくりを行い、こども食堂開設に向けての支援を行った。

① 子ども食堂連絡会

実施日：令和元年 12 月 17 日

参加者：市内で子ども食堂を運営している代表者（4 か所）

内 容：子ども食堂の運営について、実施内容を報告し、抱えている疑問や課題を話し合った。

② 新しい子ども食堂の開設を支援する。

子ども食堂	初回開催日	場所	頻度
そうじゃ食堂 くうねるあそび	平成 29 年 11 月 12 日	コープ東総社 2 階会議室・調理室	月 1 回 日曜日
ときわ にこにこ食堂	平成 30 年 8 月 25 日	常盤分館	月 1 回 土曜日か日曜日
コ・コ・ロ食堂	令和元年 7 月 22 日	喫茶 心温	月 2 回 第 2・4 月曜日
こども食堂 すだち屋	令和元年 10 月 2 日	Kitchen Bar すだち屋	月 2 回 第 1・3 水曜日

(5) 生活困窮支援センター協議会の開催

① 協議会及び常任委員会の開催

生活困窮支援センターの運営に関し必要な事項を審議した。

・第 1 回協議会（6 月 19 日）

平成 30 年度事業報告について

令和元年度事業計画について

・第 2 回協議会（2 月 14 日）

総社市生活困窮支援センターの中間報告について

令和 2 年度事業計画について

② ワーキンググループの開催

生活困窮支援センター事業について調査研究又は審議するため、協議会内にワーキンググループを設置し協議した。

- ・子どもの貧困等に関するワーキンググループ

開催回数：2回（10月8日・1月20日）

内容：ワンステップの実施について（小学生版・中高生版）

ワンステップ（小学生版）対象者拡大について

次年度以降のワンステップの取り組みについて（アンケート調査）

こどもの居場所について

- ・就労支援に関する調査・研修ワーキンググループ

開催回数：3回（8月13日・11月22日・1月28日）

内容：生活困窮支援センター及びひきこもり支援センター利用者の就労定着支援における課題と市内の社会資源について

令和2年度の検討事項について

（6）一時生活場所の確保の実施

派遣契約の解除による社宅の退去や、賃貸住宅契約の退去事項に抵触し、退去になった方等へ、次の居住先の確定までの間、「ふくしネットそうじゃ（総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会）」の協力を得て、一時生活場所の提供を行った。

実施社会福祉法人：吉備路の会、超寿会

受け入れ期間：3日～1か月

受け入れ件数：4件

9. ひきこもり支援事業

(1) ひきこもり支援センター“ワンタッチ”の設置・運営

① ひきこもり支援センター“ワンタッチ”の設置運営

「ひきこもり」に関する相談支援を行うためのワンストップ相談窓口として、来所相談、訪問相談、電話相談、e-mailでの相談等、様々な手段で当事者及び家族等の相談支援を行った。

【相談実績】

- ・延相談件数 3,613件
(訪問 537件、来所 1,711件、電話 1,158件、e-mail 207件)
- ・実相談者数 269人(うち、新規 74人)
(男性194人：72.1%、女性74人：27.5%、不明1人：0.4%)
(本人接触96人、家族接触99人、関係機関のみ74人)
- ・社会参加実人数 38人(※内訳は延人数)
(定期的居場所利用9人、ボランティア体験7人(特養5カ所5人、介護予防拠点施設1人、地域の農園1人)、地区社協行事への参加1人、就労12人、短期就労5人、福祉的就労4人、進学4人、復学1人、イベント出店2人)

(2) ひきこもり支援等検討委員会の開催

ひきこもり支援センター『ワンタッチ』の運営、事業の計画・推進(支援者の養成、居場所の設置等)、予算の執行、規定の制定等について審議する、ひきこもり支援等検討委員会を開催した。委員会には、より専門的に協議・検討するため、3つのワーキンググループ(支援者養成WG・社会参加WG・事例検討WG)を設置している。

○ひきこもり支援等検討委員会(委員長：西田和弘 岡山大学大学院教授)

開催日	内容
第1回 5月21日(火)	■委嘱状の交付、自己紹介 ■委員長の選任及び副委員長の指名について ■報告事項 ・平成30年度ひきこもり支援事業の事業報告について ・令和元年度ひきこもり支援事業計画 ■協議事項 ・全国ひきこもり支援基礎自治体サミット in そうじゃについて
第2回 7月17日(火)	■報告事項 ・ひきこもりサポーター養成テキストについて ・相談実績・活動実績・WG進捗状況(支援者養成) ・ひきこもりサポーターの活動報告 ・全国ひきこもり支援基礎自治体サミット in そうじゃについて ■協議事項 ・ひきこもりサポーターについて
第3回 9月24日(火)	■報告事項 ・全国ひきこもり支援基礎自治体サミット in そうじゃについて ・相談実績・活動実績・日陰の集いについて ・ひきこもりサポーターの活動報告 ・ひきこもりサポーター養成講座について ■協議事項 ・ひきこもり実数把握について ・令和2年度事業計画(案)について

第4回 11月28日（木）	■報告事項 ・相談実績・活動実績 ・ひきこもりサポーターの活動報告 ・ひきこもりサポーター養成講座について ・令和元年度第1回全国屈指福祉会議 ■協議事項 ・居場所ほっとタッチ「日陰の集い」アンケートについて ・「ひきこもり」の実数把握について
第5回 3月18日（水）	■報告事項 ・相談実績・活動実績 ・ひきこもりサポーターの活動報告について ・ひきこもり支援センター周知啓発について ・令和元年度第2回全国屈指福祉会議 ■協議事項 ・令和2年度ひきこもり支援センター事業計画（案）について

○支援者養成ワーキンググループ（リーダー：周防美智子 岡山県立大学准教授）

開催日	内容
第1回 7月1日（月）	■報告事項 ・ひきこもりサポーター“ほっとも”活動報告 ■協議事項 ・ひきこもりサポーター養成講座 ・ひきこもりサポーターフォローアップ研修

○社会参加ワーキンググループ（リーダー：直島克樹 川崎医療福祉大学講師）

開催日	内容
第1回 3月27日（金）	■報告事項 ・居場所活動報告 ■協議事項 ・居場所について（ほっとタッチの現状と課題、今後の居場所拡充）

○事例検討ワーキンググループ
（権利擁護センターの支援検討委員会と共同開催）

（3）ひきこもりサポーター養成講座の実施（平成28年度より開催）

地域の方等を対象に、ひきこもりに対する理解を深め、ひきこもりの方やその家族の支え手として居場所づくり・運営等に協力いただけるサポーターを養成するために開催した。

開催日	内容
第1回 9月17日（火）	■講義 「ひきこもりの理解と支援」 講師：岡山県立大学保健福祉学科 准教授 周防 美智子 氏 説明者：ひきこもりサポーター「ほっとも」、総社市社会福祉協議会

第2回 10月9日（水）	■講義 「ひきこもり支援の実践を知ろう」 講師：岡山高等学院 副校長 水野 文一郎 氏 ■グループワーク
第3回 11月1日（金）	■講義 「人を支援するうえで心がけること」 講師：川崎医療福祉大学医療福祉学部 講師 直島 克樹 氏 ■グループワーク
第4回 11月13日（水）	■講義 「ひきこもりの理解と支援～居場所支援について考えよう～」 講師：NPO 法人あかね 代表理事 中山 遼 氏 ■グループワーク
第5回 11月26日（火）	■事業説明 「ひきこもり支援事業～総社市におけるひきこもり支援の取り組みについて～」 説明者：総社市保健福祉部福祉課、総社市社会福祉協議会 ■活動報告 「自分たちができることを考えてみよう」 コーディネーター：岡山県立大学 保健福祉学科 准教授 周防 美智子 氏

○参加者数

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明	男性	女性	参加
第1回	0	1	3	2	13	11	0	0	8	22	30
第2回	1	0	4	6	13	9	0	2	7	28	35
第3回	1	0	4	8	14	6	1	2	6	30	36
第4回	2	0	3	4	11	8	1	1	7	21	29
第5回	1	0	3	3	7	4	1	1	5	15	20

申込者：51名

○登録者数

- ・77名（内、令和元年度登録者 16名）

性別	男	女
人数	19	58

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明
人数	7	2	14	15	23	13	2	1

（4）ひきこもりサポーターフォローアップ研修の実施

ひきこもりサポーターのスキルアップを図ることを目的として、具体的な支援事例の検討や、他のひきこもり支援機関の見学研修等を行った。また、サポーターの活動内容を検討することを目的として、毎月1回ひきこもりサポーター定例ミーティングを開催した。

○ひきこもりサポーターフォローアップ研修

開催日	内容	参加
第 1 回 8 月 26 日（月）	■全国ひきこもり支援基礎自治体サミット in そうじゃ 全国ひきこもり支援フォーラム 研修：フォーラム・サミット 第 1 部 全国首長サミット 第 2 部 基調講演「包括的支援と多様な参加によるまちづくり 試金石としてのひきこもり支援」 第 3 部 全国ひきこもり支援フォーラム	24 人
第 2 回 12 月 24 日（火）	■井原市社会福祉協議会 みんなの居場所 ～こもれびの杜～ 研修：見学・体験・交流 講師：井原市社会福祉協議会・チーム HK	17 人

○ひきこもりサポーター定例ミーティング

開催日	内容	参加
第 1 回 4 月 17 日（水）	・自己紹介・活動報告 ・イベント企画のガイドラインについて ・記録用紙の様式について	32 人
第 2 回 5 月 25 日（土）	・イベント企画のガイドラインについて ・役割決め	29 人
第 3 回 6 月 28 日（金）	・ひきこもり支援フォーラム進捗 ・ほっともカラー ・オリジナル物品作成について	21 人
第 4 回 7 月 24 日（水）	・ひきこもり支援フォーラム進捗 ・オリジナル物品作成について ・アンケート内容について	22 人
第 5 回 8 月 19 日（月）	・サポーター養成講座について ・サポーター養成テキストについて ・ひきこもり支援フォーラム準備	28 人
第 6 回 9 月 25 日（水）	・ひきこもり支援フォーラム振り返り ・ハートフル総社について	25 人
第 7 回 10 月 30 日（水）	・ハートフルそうじゃについて ・懇親会について	20 人
第 8 回 11 月 26 日（火）	・ハートフルそうじゃについて ・居場所クリスマス会・新年会について ・フォローアップ研修について	19 人
第 9 回 12 月 21 日（土）	・フォローアップ研修について ・鬼笑いの集いについて ・居場所 畑づくりについて	35 人
第 10 回 1 月 28 日（火）	・鬼笑いの集いについて ・日陰の集い紹介	22 人
第 11 回 2 月 26 日（水）	中止	中止
第 12 回 3 月 24 日（火）	中止	中止

(5) ひきこもりサポーター養成テキストの作成

昨年度から作成を続けていたテキストが完成。令和元年6月から販売開始。ひきこもりサポーター養成講座でも活用をしている。

(6) ピアサポーター養成講座の実施

「ひきこもり」当事者及び、経験者を対象に、同じ経験をした立場からひきこもり当事者を「居場所」やボランティアの場で支援するサポーターとなることを目指すことを目的としている。本講座は、センター利用者の中から希望する人を対象に実施する。今年度は希望者がいなかったため、開催実績なし。

(7) 居場所「ほっとタッチ」の設置、運営

○常設居場所

ひきこもり状態にある方や生きづらさを抱える方が、ホッと安心して過ごす、家族以外の人と関わる、仲間づくりをする、生活体験をするなど、それぞれの目的で利用できる「安心して、自分らしく過ごせる場所」という目的で、空き家を利用し、常設の居場所「ほっとタッチ」を月曜日～金曜日（祝祭日を除く）15:00～17:00で開所。

開催日	内容	参加
4月2日（火）	お花見（昼食作り、散歩）	4人
5月31日（金）	ほっとひと息タイム（お好み焼き）	2人
6月3日（月）	ほっともカフェ（コーヒー）	5人
7月1日（月）	ほっともカフェ（コーヒー）	3人
8月2日（金）	ほっともカフェ（コーヒー）	2人
8月7日（水）	七夕夏祭り（短冊・そうめん）	3人
8月26日（月）	ひきこもり支援サミット出店	1人
9月9日（月）	卓球大会	3人
10月21日（月）	卓球大会	3人
10月25日（金）	ほっとひと息タイム（お好み焼き）	4人
12月7日（土）	ハートフルそうじゃ出店	5人
12月19日（金）	クリスマス会（クリスマスケーキ）	9人

2月13日（木）	鬼笑いの集い（おでんなど・ゲーム）	6人
3月3日（火）	ほっともカフェ（コーヒー）	4人

○夜間居場所「日陰の集い」（18：30～20：30）

ひきこもり当事者のうち、暗くなってからでないと外出できない方や若年層が集える機会を設けるため、月1回「日陰の集い」と称して NPO 法人あかねと共催で開催した。定期的に行うことで、参加者も定着し、参加者同士のコミュニケーションも図られ、人間関係構築の効果がみられている。

開催日	内容	参加
3月5日（火）	・レクリエーション（カードゲーム）	4人
5月10日（金）	・レクリエーション（テレビゲーム、カードゲーム） ・クッキング（炊き込みご飯のオニギリ）	4人
6月28日（金）	・レクリエーション（テレビゲーム） ・歓談	4人
7月26日（金）	・レクリエーション（テレビゲーム） ・歓談 ・クッキング（白玉フルーツポンチ）	4人
8月29日（金）	・レクリエーション（DVD鑑賞、テレビゲーム・テーブルゲーム） ・歓談	4人
9月27日（金）	・レクリエーション（テレビゲーム、テーブルゲーム）	4人
10月25日（金）	・レクリエーション（テレビゲーム、リズムゲーム、テーブルゲーム）	4人
11月29日（金）	・レクリエーション（テーブルゲーム）	4人
12月20日（金）	・クリスマス会 ・レクリエーション（テレビゲーム） ・クッキング（ホットケーキ）	5人
1月31日（金）	・楽器体験（ギター、カホン） ・レクリエーション（テーブルゲーム）	5人
2月28日（金）	・レクリエーション（けん玉、ドラム、テレビゲーム）	6人
3月27日（金）	・レクリエーション（テレビゲーム、ボードゲーム）	3人

（8）ひきこもり家族会への支援

ひきこもり状態にある方の家族（両親・きょうだい・親戚）を対象とした、情報交換、研修機会等を行い、「ひきこもり家族会」が自主運営化されるよう支援した。

毎月、第3木曜日に居場所“ほっとタッチ”にて定例開催した。また、家族同士が互いに励まし合えるような交流会や、ひきこもりについて勉強できるような研修会を開催した。

○ひきこもり家族会（会員数：正会員10家族（11名）、賛助会員1家族（1名））

開催日	内容	参加
第1回 4月18日（木）	・会員名簿について ・記念樹の肥料やり ・茶話会	11人
第2回 5月16日（木）	・ワンタッチの事業報告について ・茶話会	8人
第3回 6月20日（木）	・DVD鑑賞（RSKニュース） ・ワンタッチの相談状況 ・サミット出店について・小旅行の計画	9人
第4回 7月18日（木）	・サミットについて ・小旅行の計画について ・茶話会	7人
第5回 8月19日（月）	・サミットについて ・茶話会	8人
8月26日（月）	全国ひきこもり支援基礎自治体サミットinそうじゃ 全国ひきこもり支援フォーラム	10人
第6回 9月19日（木）	・サミットの感想 ・秋の日帰り旅行について ・茶話会	8人
第7回 10月17日（木）	・ハートフルそうじゃ出店について ・秋の日帰り旅行について ・茶話会	10人
11月8日（金）	総社市ひきこもり家族会「ほっとタッチの会」～2019年 秋の日帰り旅行 in 日生～	4人
第8回 11月21日（木）	・助成金申請（赤い羽根）について ・「ほっとタッチの会」設立1周年記念講演会について ・春の日帰り旅行について ・茶話会	8人
12月7日（土）	ハートフルそうじゃ出店（サポーター・居場所利用者合同）	5人
第9回 12月19日（木）	・講演会開催について ・春の日帰り旅行について ・プチクリスマス会（サポーター・居場所利用者合同）	10人
第10回 1月16日（木）	・報告（赤い羽根助成金申請） ・講演会開催について ・茶話会	9人
第11回 2月20日（木）	・講演会開催について ・「ほっとタッチの会」便りについて ・茶話会	8人
第12回 3月19日（木）	コロナウイルス感染拡大防止のため中止	中止

○総社市ひきこもり家族会「ほっとタッチの会」設立1周年記念講演会

開催日	内容	参加
3月15日(日)	■研修 「ひきこもり家族が孤立しないために」 ～家族だからこそ『できること』、『できないこと』～ 講師：深谷 守貞 氏 (NPO 法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会) ■家族交流会 ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止	中止

(9) 全国ひきこもり支援基礎自治体サミット in そうじゃ

全国ひきこもり支援フォーラムの開催

ひきこもり支援に積極的に取り組む基礎自治体の首長が一堂に結集し、基礎自治体でひきこもり支援を行う意義や必要性和その限界を共有することで、これからの取り組みの方向性や具体的方策を明らかにし、その必要性を全国に発信していくことを目指し、全国で初めての全国ひきこもり支援基礎自治体サミットを総社市で開催した。当日は、全国各地から、約700名の参加があった。

開催日：令和元年8月26日(月) 12:00～15:30

場 所：岡山県立大学 講堂(岡山県総社市窪木111)

内 容：【オープニング】歓迎あいさつ 片岡総社市長

【第1部】全国首長サミット(岡山県総社市長、群馬県安中市市長、愛知県豊明市長、滋賀県守山市市長、山口県宇部市長)

【第2部】全体会

- ・あいさつ 沖 陽子(岡山県立大学 学長)
- ・基調講演「包括的支援と多様な参加によるまちづくり
～試金石としてのひきこもり支援～」

講師：宮本 太郎(中央大学 法学部 教授)

【第3部】フォーラム

座長：西田 和弘(総社市ひきこもり支援等検討委員会委員長、岡山大学 法科大学院 教授)

当事者：宮武 将大

(NPO 法人 Node(全国ひきこもり当事者ネットワーク))

家族：伊藤 正俊(KHJ 全国ひきこもり家族会連合会共同代表)

支援者：(企業)佐藤 啓(株式会社ウチらめっちゃ細かいんで代表)

(国)厚生労働省

(機関)総社市ひきこもり支援センター

(報道)池上 正樹(ジャーナリスト)

(学識)周防美智子(岡山県立大学 准教授)

(10) 周知啓発活動の実施

ひきこもり当事者やその家族をはじめ、広く一般市民、地域の関係者等へ「ひきこもり」への理解と、「ひきこもり支援センター」が行う「ひきこもり」の相談支援や社会参加支援等について周知啓発を行った。

○啓発方法：市広報誌、社協だより、チラシ、ホームページ、Facebook

○若者向けチラシの作成と配布

○カード型リーフレットの作成と配布

10. 在宅福祉サービス事業

(1) 介護保険事業（居宅介護支援事業、訪問介護事業）の実施

- ① 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）
 - ・利用者数 延2,101人（月平均175人）
 - ・介護支援専門員 7人
 - ・要介護認定調査 延9人（月平均0.75人）

- ② 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）
 - ・利用者数 延775人（月平均65人）
 - ・ホームヘルパー（常勤6人・登録31人）
 - ・援助内容 身体介護、生活援助

介護予防日常生活支援総合事業（ホームヘルパー派遣）

- ・利用者数 延577人（月平均48人）
- ・ホームヘルパー（常勤6人・登録31人）
- ・援助内容 身体介護、生活援助

(2) 障がい福祉サービス事業（相談支援、支援区分認定調査、居宅介護【ホームヘルパー】）の実施

- ① 指定特定相談支援事業の実施
 - ・利用者数 延749人（月平均62人）
 - ・相談支援専門員5人
- ② 指定障がい児相談支援事業の実施
 - ・利用者数 延408人（月平均34人）
- ③ 障害支援区分認定調査の実施
 - ・利用者数 延122人（月平均10人）
- ④ 居宅介護事業の実施（ホームヘルパー派遣）
 - ・利用者数 延697人（月平均58人）
 - ・援助内容 身体介護、家事援助、同行援護、相談、助言等
- ⑤ 障がい者（児）移動支援事業の実施（ホームヘルパー派遣）
 - ・利用者数 1人

(3) 車イス貸出し事業の実施

- ・車いすの貸出し（介護保険外）81件

11. 福祉センター等管理運営事業

(1) 総社市総合福祉センターの管理運営

地域福祉活動の拠点として、福祉団体等への部屋の貸出をするとともに、福祉相談の実施、福祉サービスの提供及び啓発に努めた。

	R1	H30	H29	H28	H27
利用回数	1,321回	922回	1,303回	1,229回	1,383回
利用者数	39,531人	36,477人	43,623人	42,094人	43,821人

(2) やすらぎの家、さんあいの家、ひだまりの家、山手ふれあいセンターの指定管理

・ やすらぎの家

	R1	H30	H29	H28	H27
利用回数	545回	470回	466回	415回	415回
利用者数	6,507人	6,255人	7,276人	5,767人	5,933人

・ さんあいの家

	R1	H30	H29	H28	H27
利用回数	545回	470回	466回	415回	415回
利用者数	6,507人	6,255人	7,276人	5,767人	5,933人

・ ひだまりの家

	R1	H30	H29	H28	H27
利用回数	290回	263回	323回	295回	193回
利用者数	6,199人	6,434人	6,825人	6,830人	6,866人

・ 山手ふれあいセンター

	R1	H30	H29	H28	H27
利用回数	412回	494回	466回	503回	396回
利用者数	4,081人	6,477人	7,276人	6,993人	4,810人

12. 共同募金・歳末たすけあい運動の実施

(1) 共同募金・歳末たすけあい募金の実施

① 共同募金実績額 10,037,053円 (H30 9,937,898円)

地区	戸別募金	街頭募金	法人募金	学校募金	協力店募金
総社	2,146,180 円		220,500 円	145,504 円	928 円
常盤	1,162,050 円		99,800 円	14,832 円	10,702 円
池田	255,700 円			3,715 円	
清音	839,617 円		73,000 円	9,260 円	3,243 円
三須	357,300 円		20,000 円	410 円	7,565 円
服部	326,900 円		87,000 円	13,861 円	
阿曾	434,600 円		24,000 円	10,413 円	3,517 円
山手	720,700 円		58,000 円	22,907 円	10,211 円
秦	350,800 円			29,262 円	1,781 円
神在	251,600 円		22,000 円	6,670 円	
久代	394,290 円			4,705 円	8,709 円
山田	123,000 円				
新本	226,450 円		10,000 円	9,524 円	273 円
昭和	558,528 円				275 円
事務局		81,241 円			14,110 円
計	8,147,715 円	81,241 円	614,300 円	271,063 円	61,314 円

地区	イベント募金	個人・バッチ	合計
総社		271,600 円	2,784,712 円
常盤		14,400 円	1,301,784 円
池田		5,200 円	264,615 円
清音		42,800 円	967,920 円
三須		800 円	386,075 円
服部		28,800 円	456,561 円
阿曾		6,000 円	478,530 円
山手		41,200 円	853,018 円
秦		17,600 円	399,443 円
神在		5,600 円	285,870 円
久代		4,400 円	412,104 円
山田		400 円	123,400 円
新本		400 円	246,647 円
昭和		2,400 円	561,203 円
事務局	27,420 円	392,400 円	515,171 円
計	27,420 円	834,000 円	10,037,053 円

② 歳末たすけあい募金

・募金実績額 329,425円

(2) 共同募金事業の実施

① 共同募金ポスターコンクールの開催

市内の小学校4年生から中学校3年生までを対象に「みんなで支えあう 明るく住みよい 心豊かな福祉のまちづくり」をイメージするようなポスター作品を募集しました。

36作品の応募があり、審査の結果、最優秀賞が1点、優秀賞が10点選ばれました。運動がスタートした10月1日には、リブ総社店にて授賞式を行い、受賞者には賞状と記念品を贈呈しました。

(3) 歳末たすけあい事業の実施（寝たきり者への友愛訪問事業）

- ・在宅で寝たきりの方（54人）にバスタオルを持参して友愛訪問活動を実施

13. 赤十字事業

(1) 日赤活動資金増強運動の推進

- ・会員増強運動月間（5月）

（令和元年度会費納入状況）

地区名	会員数	実績額
総社	2,966 件	2,336,900 円
常盤	1,539 件	1,384,700 円
三須	485 件	609,000 円
服部	536 件	537,500 円
阿曾	468 件	429,500 円
池田	348 件	313,000 円
秦	441 件	383,000 円
神在	313 件	285,000 円
久代	758 件	586,650 円
山田	205 件	188,000 円
新本	396 件	336,000 円
昭和	789 件	694,500 円
山手	538 件	566,500 円
清音	1,055 件	958,500 円
事務局	2 件	203,000 円
計	10,853 件	9,811,750 円

※ 県支部指示目標額7,509,000円に対して、
実績額9,811,750円（130.67%）
H30実績額 9,833,510円（▲21,760円）

(2) 災害救援事業の実施

○災害被災者の救護

- ・見舞金（総社市地区独自）2件（火災：東阿曾、新本）
- ・弔慰金（総社市地区独自）1件（火災：新本2名）
- ・救援物資1件（火災：東阿曾）

○災害時のためのハイゼックス等による炊き出し訓練（イベント内含む）

- ・常盤地区防災訓練（11月24日）
- ・久代地区炊き出し訓練（2月20日）

(3) 赤十字奉仕団活動の推進及び助成

○救急法・家庭看護法等の講習会の開催

- ・赤十字奉仕団研修会（全分団）
- ・救急救命・AED講習（池田地区）
- ・健康生活支援講習（総社地区）
- ・赤十字防災セミナー・災害図上訓練等（阿曾地区）
- ・認知症を理解する研修会（山手地区）

(4) 赤十字事業普及のための広報活動

- ・地域のイベントに参加し日赤活動のPR
緊急セットやパネル展示 2か所
- ・地域活動において救護班として参加
- ・地域の災害時の炊き出し訓練に奉仕団員が指導

14. 災害救援活動、災害救援募金の実施

日本赤十字社及び共同募金会から依頼のあった災害義援金について、指定募金として対応した。

《平成30年7月豪雨災害義援金》

142,094円

《令和元年台風19号災害義援金》

67,974円

※以上の義援金は本地区を通じて、岡山県支部へ送金

15. 社会福祉・介護福祉現場実習生の指導

○社会福祉援助技術現場実習の受け入れ

- | | |
|-----------|----|
| ・岡山県立大学 | 2人 |
| ・美作大学 | 1人 |
| ・川崎医療福祉大学 | 1人 |

○見学実習

- | | |
|-----------|------------|
| ・川崎医療福祉大学 | 10人（8月30日） |
|-----------|------------|

○社会福祉士養成校での講義等

- ・岡山県立大学（ソーシャルワーク実習指導Ⅰ）

16. 地域福祉巡回車両の贈呈

地域福祉活動を目的に各種団体から、車両の贈呈をいただく。

- ・吉備信用金庫（三菱 e k ワゴン 1台）

17. 視察研修等の受入

No	視察研修等受け入れ先	日程
1	京都市上京区社会福祉協議会	5月21日
2	竹原市議会議員	5月28日
3	周防大島町民生委員児童委員協議会	5月28日
4	常金丸学区福祉を高める会	6月26日
5	香川県三豊市	6月28日
6	北海道津別町	7月 2日
7	北海道帯広市議会	7月 3日
8	倉敷市玉島地区民生委員児童委員協議会	7月 4日
9	福山市	7月12日
10	尾道市行政及び尾道市社会福祉協議会	7月17日
11	尾道市行政及び尾道市社会福祉協議会	7月18日
12	尾道市内モデル指定地区	7月31日
13	山口県宇部市社会福祉協議会	8月20日
14	厚生労働省	8月27日
15	富田林社会福祉協議会	8月28日
16	広島県大竹町	9月11日
17	福知山市	9月13日
18	吉備中央町障害者等地域自立支援協議会	9月24日
19	週刊プレイボーイ	9月27日
20	南国市社会福祉法人による公益的な取り組み連絡会	10月21日
21	東京都江東区生活保護職員	10月25日
22	玉野市議会議員、玉野市愛育委員	10月25日
23	鳥取県八頭町行政及び八頭町社会福祉協議会	10月28日
24	浅口市民生委員児童委員協議会	10月28日
25	高梁市社会福祉法人連絡会	10月29日
26	静岡県清水町議会	11月 6日
27	櫛浜地区社会福祉協議会・自治会連合会	11月11日
28	兵庫県高砂市包括及び高砂市社会福祉協議会	11月12日
29	三重県大台町民生委員児童委員協議会	11月14日
30	真庭市落合地区社会福祉協議会	11月25日
31	呉市社会福祉協議会	11月28日
32	KHJ	11月29日
33	NPO 法人つながる鹿児島	12月25日
34	東京都文京区市議会	1月17日
35	松山市議会	1月24日
36	愛媛県松山市議会他	1月24日
37	千葉大学大学教育学部	1月27日
38	真庭市	1月30日
39	厚生労働省	1月31日
40	津山・きびの会	2月 5日
41	新見市井倉地区民生委員児童委員協議会	2月10日
42	沖縄県中部圏域	2月20日

18. その他福祉諸問題に関する対策の企画と実施

(外部委員等への就任状況)

No	関連委員等	担当
1	総社市総合計画審議会 委員	風早会長
2	総社市地域公共交通会議 委員	風早会長
3	総社市全国屈指福祉会議 委員	風早会長
4	総社市表彰審査会 委員	風早会長
5	総社市市民憲章を唱和・実践する会 副会長	風早会長
6	総社市民生委員児童委員推薦委員会 会長	風早会長
7	総社市文化振興財団 評議員	風早会長
8	岡山県社会福祉協議会 評議員	風早会長
9	岡山県共同募金会 理事	風早会長
10	「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会 副会長	佐野事務局長
11	総社市要保護児童対策地域協議会 副会長	佐野事務局長
12	岡山県社会福祉経営支援委員会 委員	佐野事務局長
13	岡山県地域公益活動推進協議会 委員	佐野事務局長
14	全国社会福祉協議会 地域福祉推進委員会 常任委員 市区町村社協介護サービス経営研究会幹事会 福祉サービスの質の向上推進委員会	佐野事務局長
15	日本地域福祉学会 第33回大会実行委員	佐野事務局長
16	総社市自殺対策連絡協議会 委員長	中井事務局次長